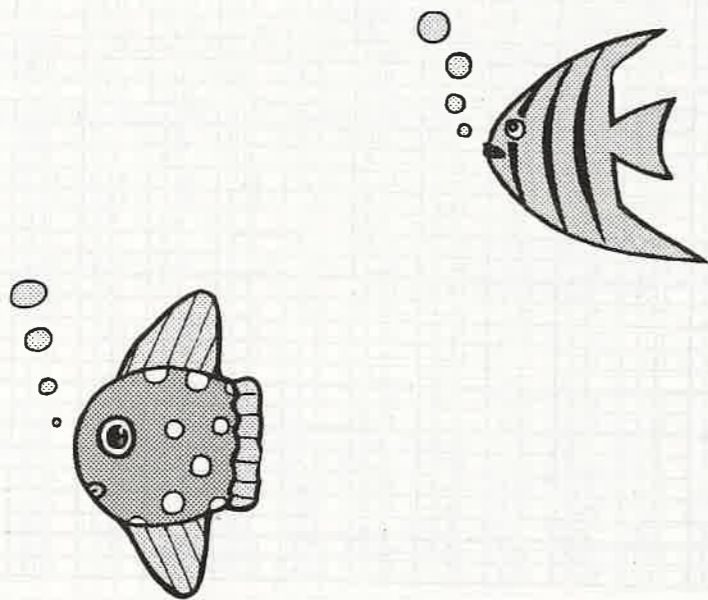
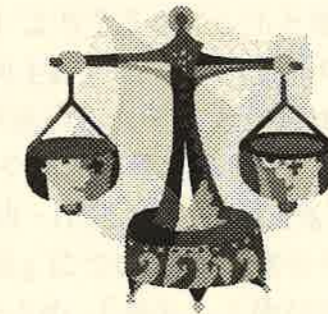


表3-8-2 属性別にみた身近で起こりそうな犯罪(続き)

		(%)															
		累計	【性別】		【年齢別】							【地域別】					
			男性	女性	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
(21) 通り魔的犯罪	よく感じる	5.3	5.9	4.8	3.7	10.3	7.0	3.4	5.1	3.3	2.2	6.1	4.5	5.7	6.6	3.3	7.5
	たまに感じる	22.4	19.9	25.0	15.1	25.5	26.3	25.1	20.0	17.1	23.8	14.4	20.5	30.1	22.9	17.5	17.9
	ほとんど感じない	43.5	44.5	42.4	35.5	37.0	42.9	50.2	47.2	43.0	41.4	47.0	47.6	39.1	39.9	35.0	42.5
	全く感じない	27.7	28.7	26.7	44.5	26.9	23.8	21.0	27.3	33.5	27.1	32.6	26.6	23.6	29.1	43.3	30.2
	無回答	1.1	1.0	1.1	1.2	0.2	0.0	0.4	0.4	3.1	5.5	0.0	0.8	1.5	1.6	0.8	1.9
	感じる(計)	27.7	25.8	29.7	18.8	35.9	33.3	28.4	25.1	20.4	26.0	20.5	25.0	35.8	29.5	20.8	25.5
	感じない(計)	71.2	73.2	69.1	80.0	63.9	66.7	71.2	74.5	76.5	68.5	79.5	74.2	62.7	69.0	78.3	72.6
(22) 不法投棄等による環境犯罪	よく感じる	17.7	19.7	15.6	17.1	22.3	20.6	14.1	16.7	17.8	12.2	12.1	17.2	16.1	20.9	20.8	27.4
	たまに感じる	31.6	32.8	30.4	21.6	30.3	29.1	37.6	37.9	26.1	31.5	28.8	29.8	33.7	29.8	46.7	37.7
	ほとんど感じない	30.3	28.0	32.6	26.9	29.4	31.8	34.6	30.3	26.1	28.7	34.8	32.2	29.3	30.6	17.5	16.0
	全く感じない	19.4	18.6	20.1	33.1	17.9	18.5	13.3	13.9	27.1	23.2	24.2	20.2	18.8	17.1	15.0	17.9
	無回答	1.1	0.9	1.3	1.2	0.0	0.0	0.4	1.2	2.9	4.4	0.0	0.7	2.1	1.6	0.0	0.9
	感じる(計)	49.3	52.5	46.0	38.8	52.6	49.7	51.8	54.6	43.9	43.6	40.9	46.9	49.9	50.8	67.5	65.1
	感じない(計)	49.7	46.6	52.7	60.0	47.4	50.3	47.9	44.2	53.2	51.9	59.1	52.4	48.1	47.7	32.5	34.0
(23) その他	よく感じる	1.3	1.9	0.7	2.4	1.8	1.9	1.2	0.2	1.0	1.1	1.5	1.7	0.9	1.2	0.8	0.9
	たまに感じる	0.9	1.0	0.9	0.0	0.5	0.4	0.9	1.2	1.4	3.3	0.0	1.0	1.8	0.4	0.8	0.0
	ほとんど感じない	0.0	0.0	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
	全く感じない	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
	無回答	97.7	97.1	98.2	97.1	97.7	97.5	97.9	98.6	97.6	95.6	98.5	97.4	97.3	98.4	96.7	99.1
	感じる(計)	2.3	2.9	1.6	2.4	2.3	2.3	2.1	1.4	2.4	4.4	1.5	2.6	2.7	1.6	1.7	0.9
	感じない(計)	0.1	0.0	0.1	0.4	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0



第4章 県民の価値観等



第4章 県民の価値観等

前章までは、生活の状況についての認識やそこから生じるニーズの把握及び政策優先度や沖縄の施策についてみてきたが、本章ではこれらの意識の背景にある県民の価値観、本県（民）の長所と短所、居住希望についてみていく。

1 県民の価値観（問4）

県民の価値観を図るため、対立する2つの考え方それぞれについてどちらに最も近いかを尋ねて、その結果をまとめたものが図4-1-1である。

『仕事と余暇』については、「いつでも仕事を優先させる」とする「仕事優先派」が50.1%、「休みをつぶしてまで仕事をしようとは思わない」とする「余暇優先派」が48.2%で、拮抗している。前回調査でも「仕事優先派」の45.6%に対し、「余暇優先派」が47.6%で拮抗していたが、前回調査に比べて「仕事優先派」が4.5ポイント増えている。

『精神的豊かさや物質的豊かさ』については、「物質的豊かさより精神的豊かさがより大切である」が79.9%と8割近くに及び、「精神的豊かさより物質的豊かさがより大切である」は18.0%にとどまっている。「精神的豊かさ」が大切する考え方は前回調査でも77.0%の多数を占め、今回さらに2.9ポイント増えている。

『女性の社会進出と家事専念』については、「女性も外に出てどんどん働いた方がいい」とする「女性の社会進出」を支持する考え方が64.6%と、「女性は家において家事や育児に専念した方がいい」の33.5%を、31.1ポイント上回っている。「女性の社会進出」を支持する考え方は前回調査（57.2%）より7.5ポイントと増えている。

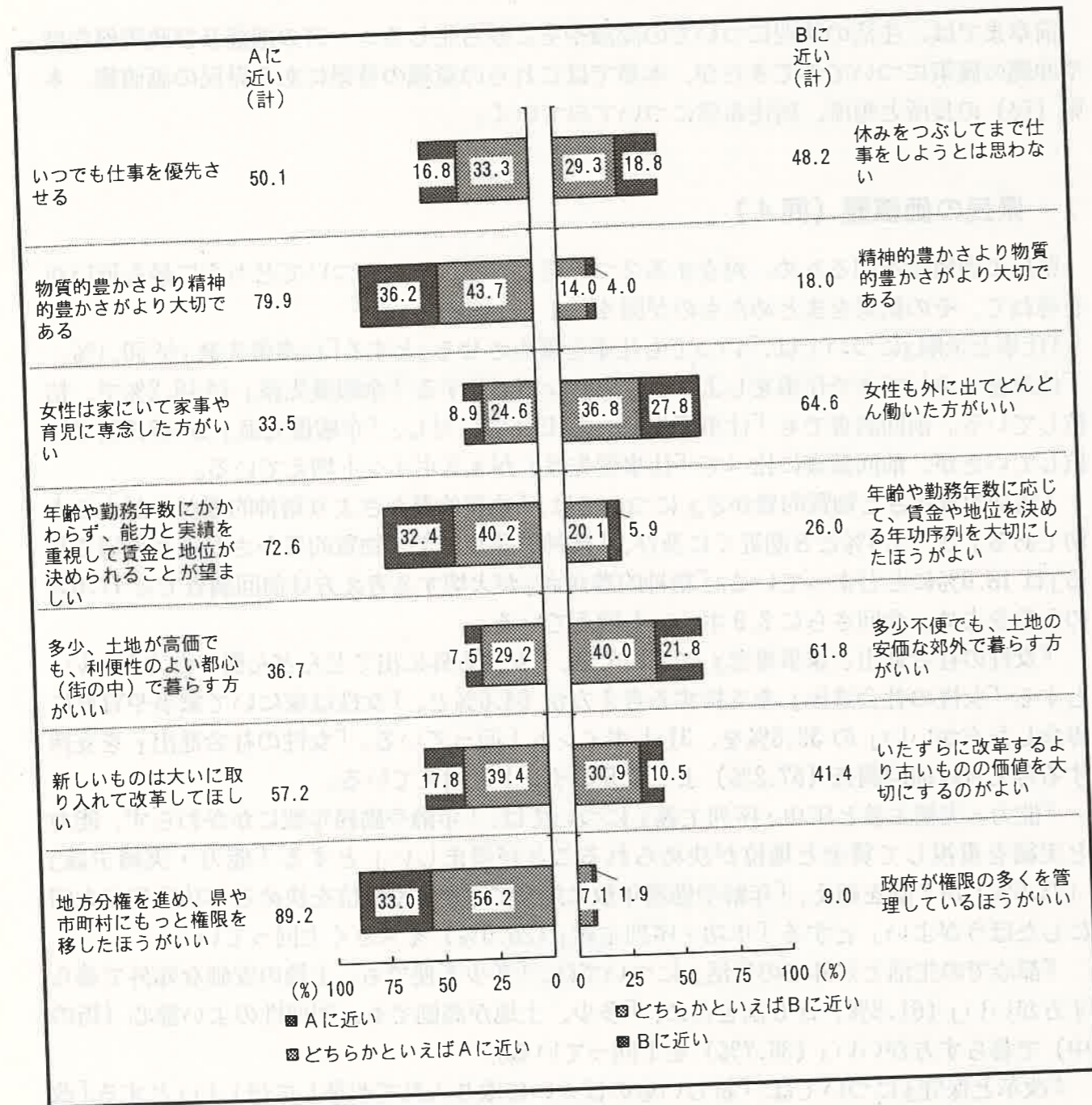
『能力・実績主義と年功・序列主義』については、「年齢や勤務年数にかかわらず、能力と実績を重視して賃金と地位が決められることが望ましい」とする「能力・実績主義」(72.6%)が7割を超え、「年齢や勤務年数に応じて、賃金や地位を決める年功序列を大切にしたい方がいい」とする「年功・序列主義」(26.0%)を大きく上回っている。

『都心での生活と郊外での生活』については、「多少不便でも、土地の安価な郊外で暮らす方がいい」(61.8%)が6割を占め、「多少、土地が高価でも、利便性のよい都心（街の中）で暮らす方がいい」(36.7%)を上回っている。

『改革と保守』については、「新しいものは大いに取り入れて改革してほしい」とする「改革派」が57.2%で、「いたずらに改革するより古いものの価値を大切にすることがよい」とする「保守派」(41.4%)を上回っている。前回調査では「改革派」の45.5%に対し、「保守派」が47.7%となっており、「改革派」が11.7ポイントと大幅に増え、多数派となった。

『地方分権と中央集権』については、「地方分権を進め、県や市町村にもっと権限を移した方がいい」とする「地方分権派」が89.2%と9割近くに及び、「政府が権限の多くを管理している方がいい」とする「中央集権派」は9.0%にとどまった。「地方分権派」は前回調査でも83.1%の多数を占め、今回さらに6.1ポイント増えている。

図4-1-1 県民の価値観



(1) 仕事と余暇

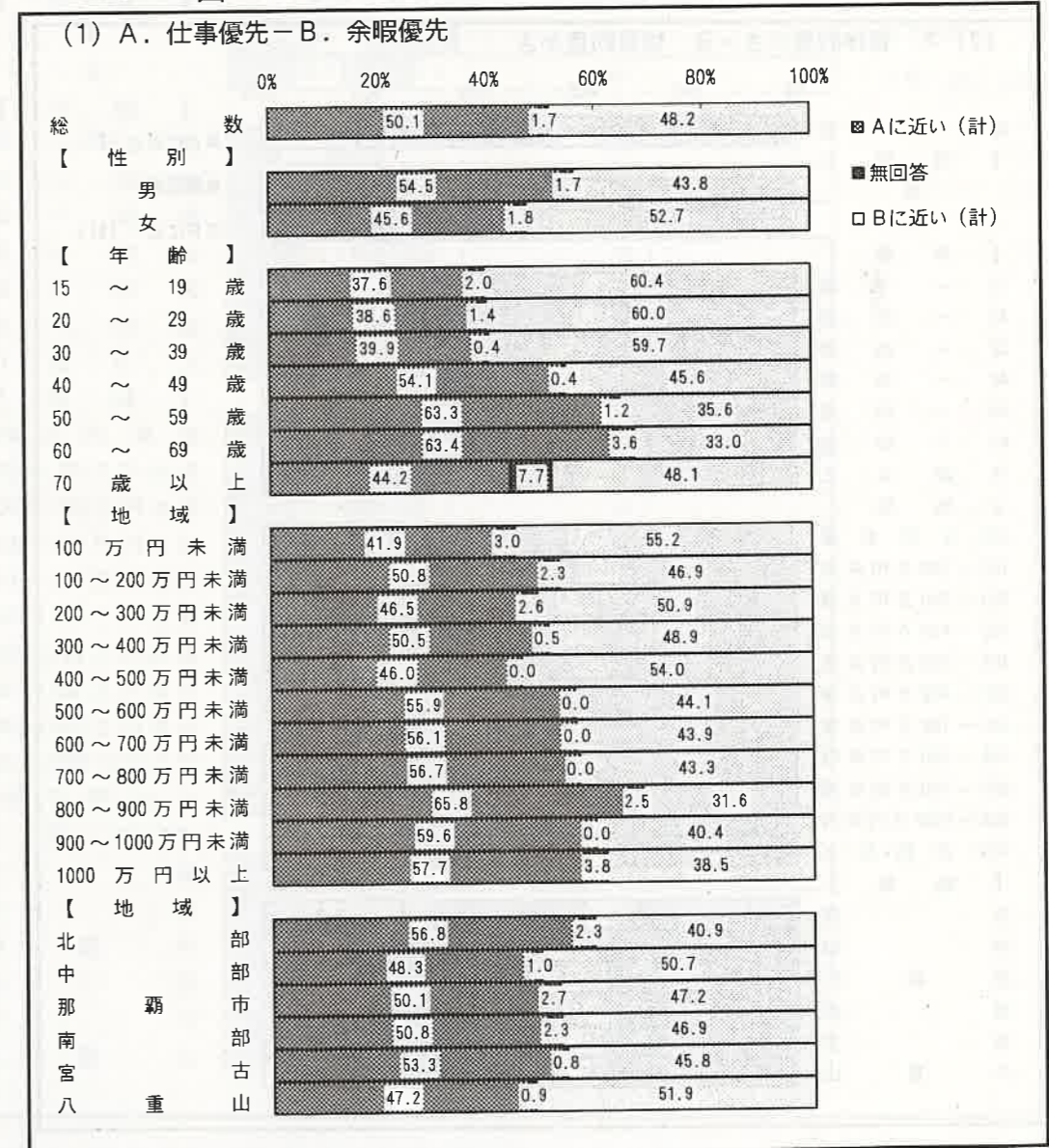
『仕事と余暇』に対する考え方について、属性別に表示したのが図4-1-2である。性別では、「いつでも仕事を優先させる」は男性で54.5%、女性で45.6%と、男性の方が仕事を優先する傾向にある。前回調査と比較すると、「仕事優先派」は男性ではほとんど変化がないのに対して、女性では8.9ポイントの増加となっている。

年齢別では、「仕事優先派」は50～59歳代、60～69歳代で高く、それを境に年齢が離れるにつれ減少しており、30歳代以下では「余暇優先派」が6割前後で多数を占めている。

地域別では、「仕事優先派」は北部が56.8%と最も高く、中部(48.3%)と八重山(47.2%)で低い。中部と八重山では「余暇優先派」が5割で、「仕事優先派」をわずかながら上回っている。

年収別では、「仕事優先派」は800万円～900万円未満の層が65.8%で最も高いが、500万円を境に差がみられ、500万円未満の層では「余暇優先派」の比率が比較的高い傾向にある。

図4-1-2 『仕事と余暇』に対する価値観



(2) 精神的豊かさと物質的豊かさ

『精神的豊かさと物質的豊かさ』に対する考え方について、属性別に表示したのが図4-1-3である。

すべての属性において、「物質的豊かさより精神的豊かさがより大切である」とする「精神的豊かさ重視派」が7割以上の多数を占めている。

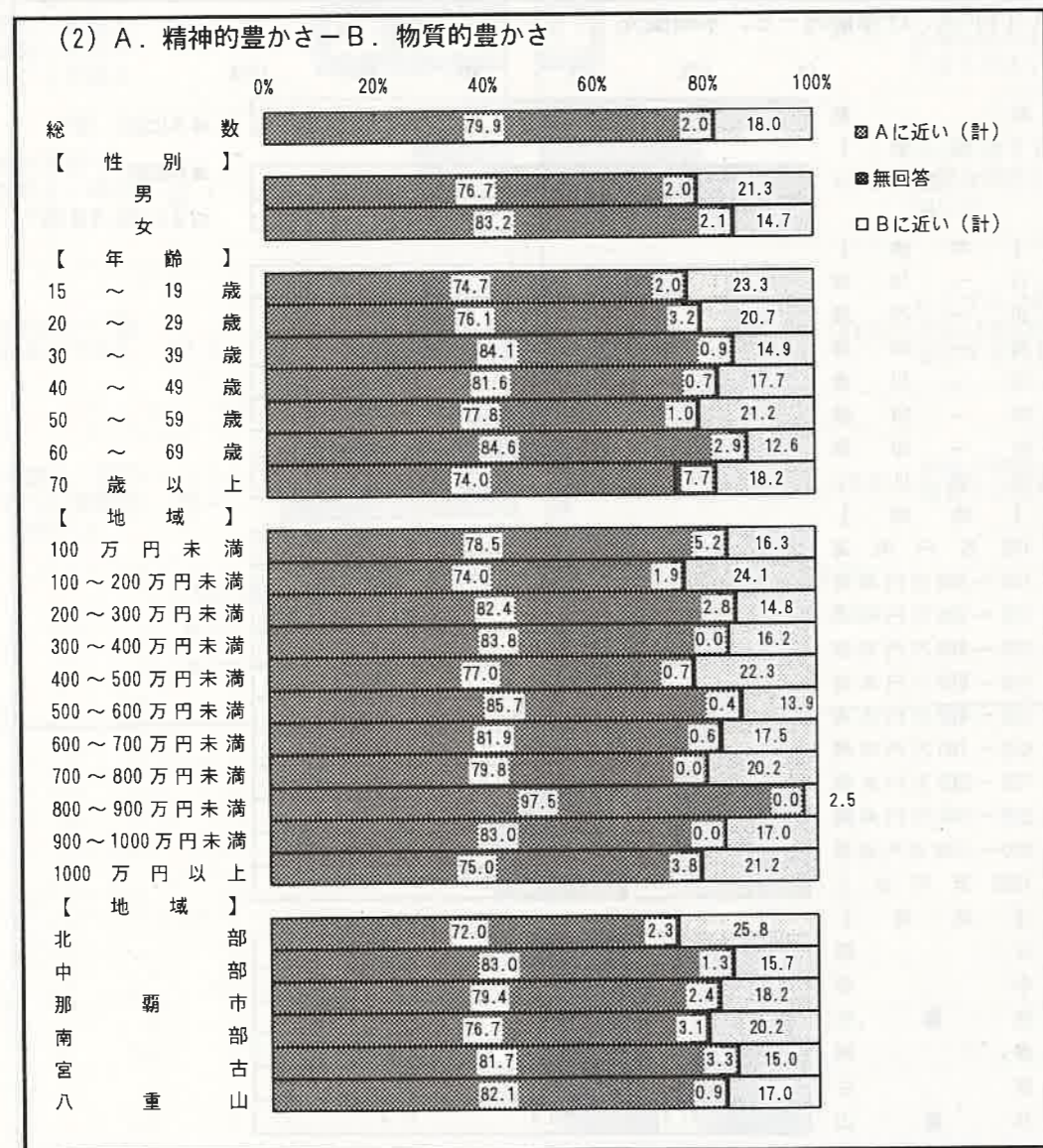
性別では、「精神的豊かさ重視派」は男性の76.7%に対し、女性で83.2%と、前回の調査同様に女性の方が重視する傾向にある。

年齢別では、「精神的豊かさ重視派」は15~19歳代(74.7%)と70歳以上(74.0%)の両極でやや低く、15~19歳代では「物質的豊かさ重視派」が23.3%で20歳代以上に比べ、高く、70歳以上では「無回答」の比率が高くなっている。

地域別では、北部でやや傾向が異なり、「精神的豊かさ重視派」(72.0%)が最も少なく、「物質的豊かさ重視派」が25.8%となっている。

年収別では、「精神的豊かさ重視派」は800万円~900万円未満の層が97.5%と特に高い。

図4-1-3 『精神的豊かさと物質的豊かさ』に対する価値観



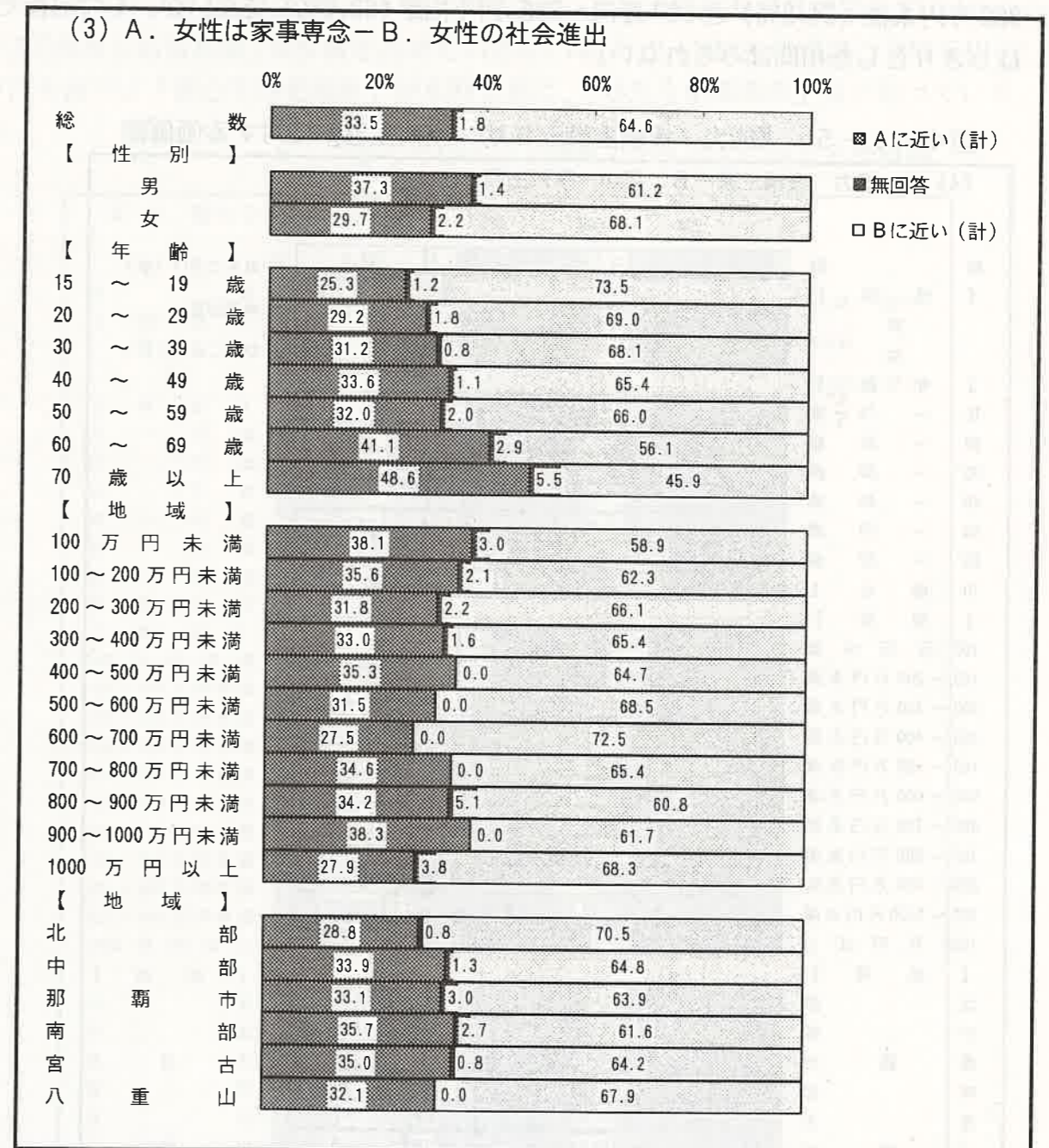
(3) 女性の社会進出と家事専念

『女性の社会進出と家事専念』に対する考え方について、属性別に表示したのが図4-1-4である。

性別では、「女性の社会進出派」は男性の61.2%に対し、女性で68.1%と、前回の調査同様に女性の支持が高い。

年齢別では、「女性の社会進出派」は若い年齢層ほど高く、15~19歳代では73.5%に及んでいる。一方、70歳以上では「女性の社会進出派」(45.9%)は半数に満たず、「家事専念派」(48.6%)と拮抗している。

図4-1-4 『女性の社会進出と家事専念』に対する価値観



(4) 能力・実績主義と年功・序列主義

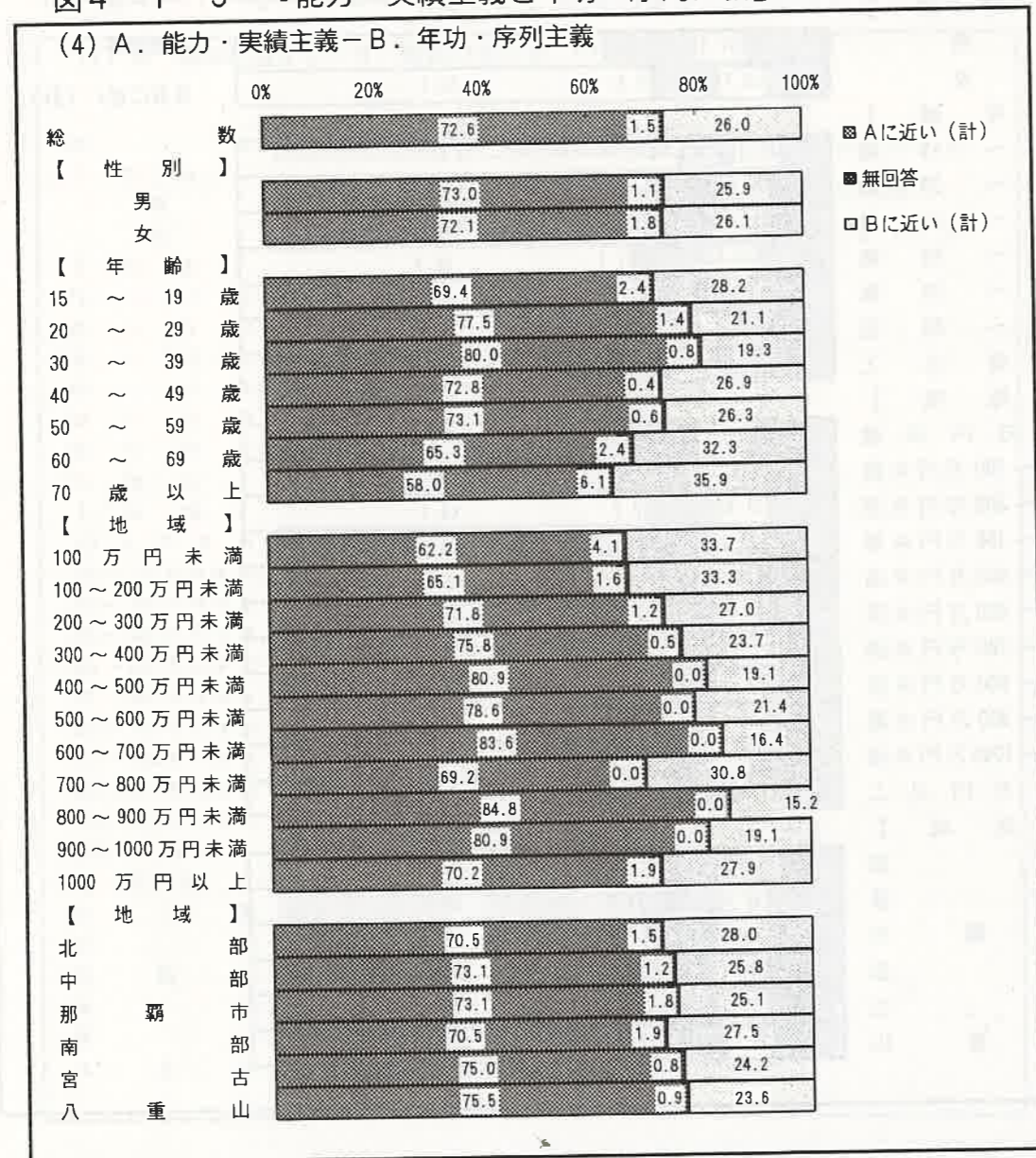
『能力・実績主義と年功・序列主義』に対する考え方について、属性別に表示したのが図4-1-5である。すべての属性において、「年齢や勤務年数にかかわらず、能力と実績を重視して賃金と地位が決められることが望ましい」とする「能力・実績主義」が多数意見となっている。

性別では、際立った差はみられない。

年齢別では、「能力・実績主義派」は30～39歳代で80.0%と最も高く、それを境に年齢が離れるにつれ減少しており、70歳以上では58.0%にとどまる。「年功・序列主義派」は60歳以上の高年層で3割を占めている。

年収別では、「能力・実績主義派」は200万円未満で低く、6割にとどまっている。800万円～900万円未満(84.8%)と600万円～700万円未満(83.6%)で高いが、その前後で低く、はっきりとした相関はみられない。

図4-1-5 『能力・実績主義と年功・序列主義』に対する価値観



(5) 都心での生活と郊外での生活

『都心での生活と郊外での生活』に対する考え方について、属性別に表示したのが図4-1-6である。

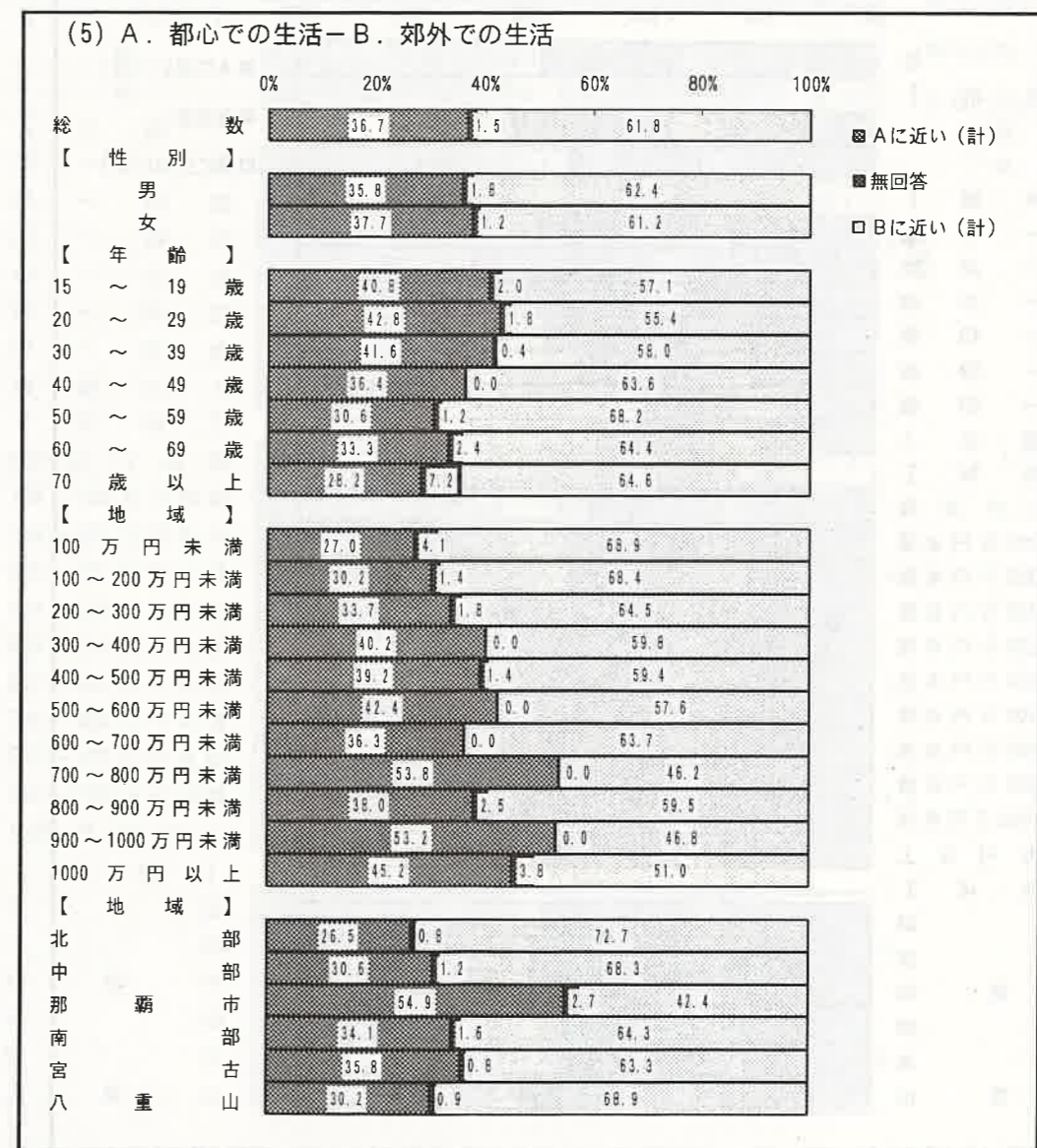
性別では、際立った差はみられない。

年齢別では、すべての年齢層で「多少不便でも、土地の安価な郊外で暮らす方がいい」とする「郊外生活重視派」が多数を占めているが、30歳代以下では5割台、40歳代以上では6割台と、30歳代を境にして差がみられる。

地域別では、那覇市で「多少、土地が高価でも、利便性のよい都心(街の中)で暮らす方がいい」とする「都心生活重視派」が54.9%で、「郊外生活重視派」(42.4%)を上回っている。

年収別では、ほとんどの層で「多少不便でも、土地の安価な郊外で暮らす方がいい」とする「郊外生活重視派」が多数を占めているが、700万円～800万円未満と900万円～1,000万円未満では「都心生活重視派」が5割を超え、「郊外生活重視派」を上回っている。

図4-1-6 『都心での生活と郊外での生活』に対する価値観



(6) 改革と保守

『改革と保守』に対する考え方について、属性別に示したのが図4-1-7である。

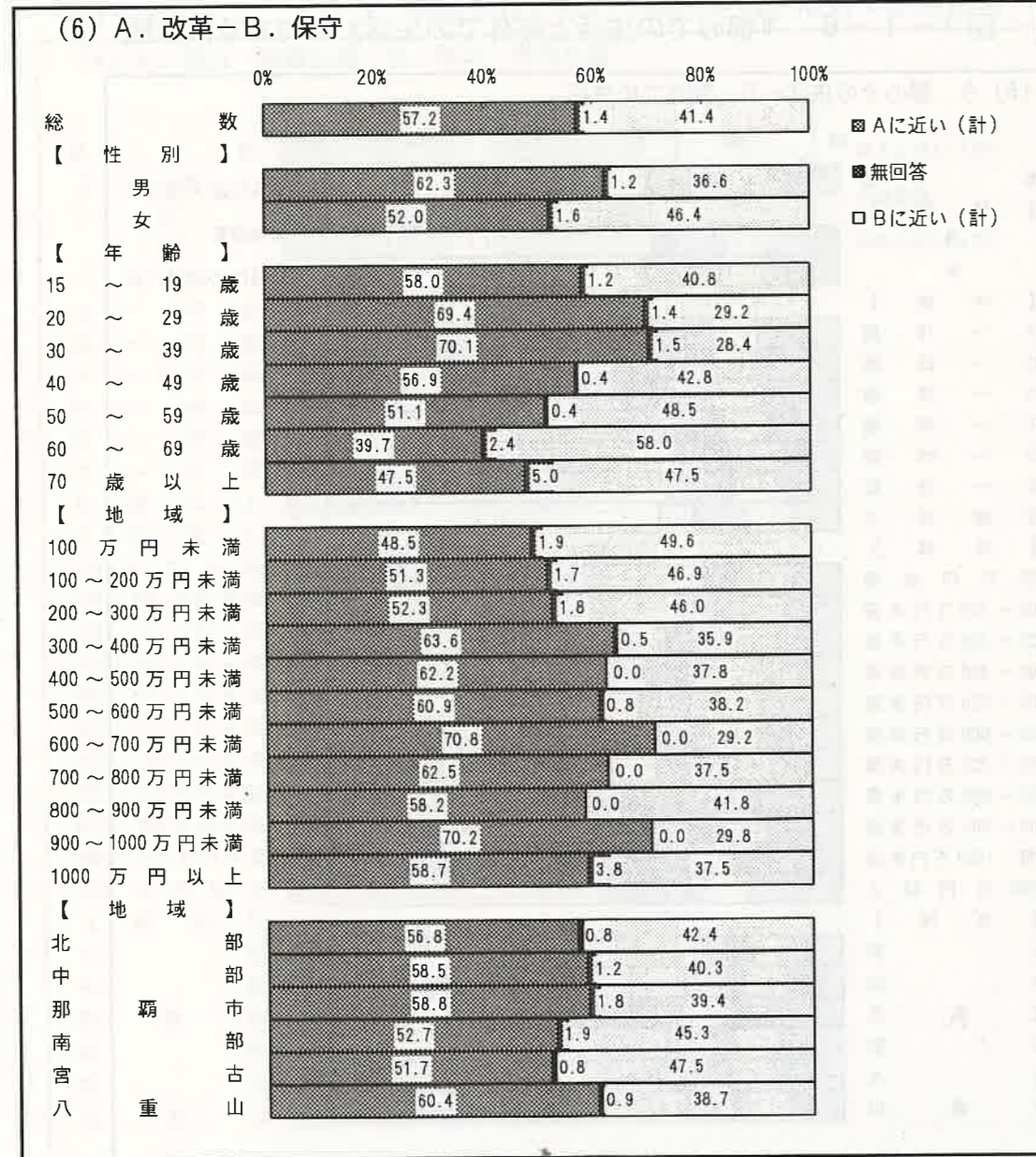
性別では、男女とも「新しいものは大いに取り入れて改革してほしい」とする「改革派」が5割を超え、多数を占めているが、その比率は男性が62.3%で、女性の52.0%を大きく上回っている。前回調査と比べると、「改革派」は男性で8.6ポイント増、女性で13.0ポイント増と、ともに増加している。

年齢別では、「改革派」は20～29歳代、30～39歳代で7割前後と特に高い一方、60～69歳代では39.7%にとどまる。60～69歳代では「保守派」が58.0%と多数を占め、その前後の50～59歳代と70歳以上では「改革派」と「保守派」がほぼ同率となっている。

地域別では、「改革派」は八重山で最も高く、「保守派」は宮古で最も高くなっている。

年収別では、年収の増加とともに「改革派」は300万円以上の層で高いが、600万円～700万円未満と900万円～1,000万円未満で7割を超え、特に高くなっている。

図4-1-7 『改革と保守』に対する価値観



(7) 地方分権と中央集権

『地方分権と中央集権』に対する考え方について、属性別に示したのが図4-1-8ある。すべての属性において、「地方分権を進め、県や市町村にもっと権限を移したほうがいい」とする「地方分権派」が7割以上を占め、多数意見となっている。

性別では、際立った差はみられない。

年齢別では、「地方分権派」は60歳代以下で9割前後に及んでいるのに対し、70歳以上では76.2%と7割にとどまり、最も低くなっている。

地域別では、「地方分権派」は中部、宮古、北部の3地域で90%を超えているのに対し、南部(84.5%)、那覇市(86.6%)、八重山(86.8%)でやや低くなっている。

図4-1-8 『地方分権と中央集権』に対する価値観

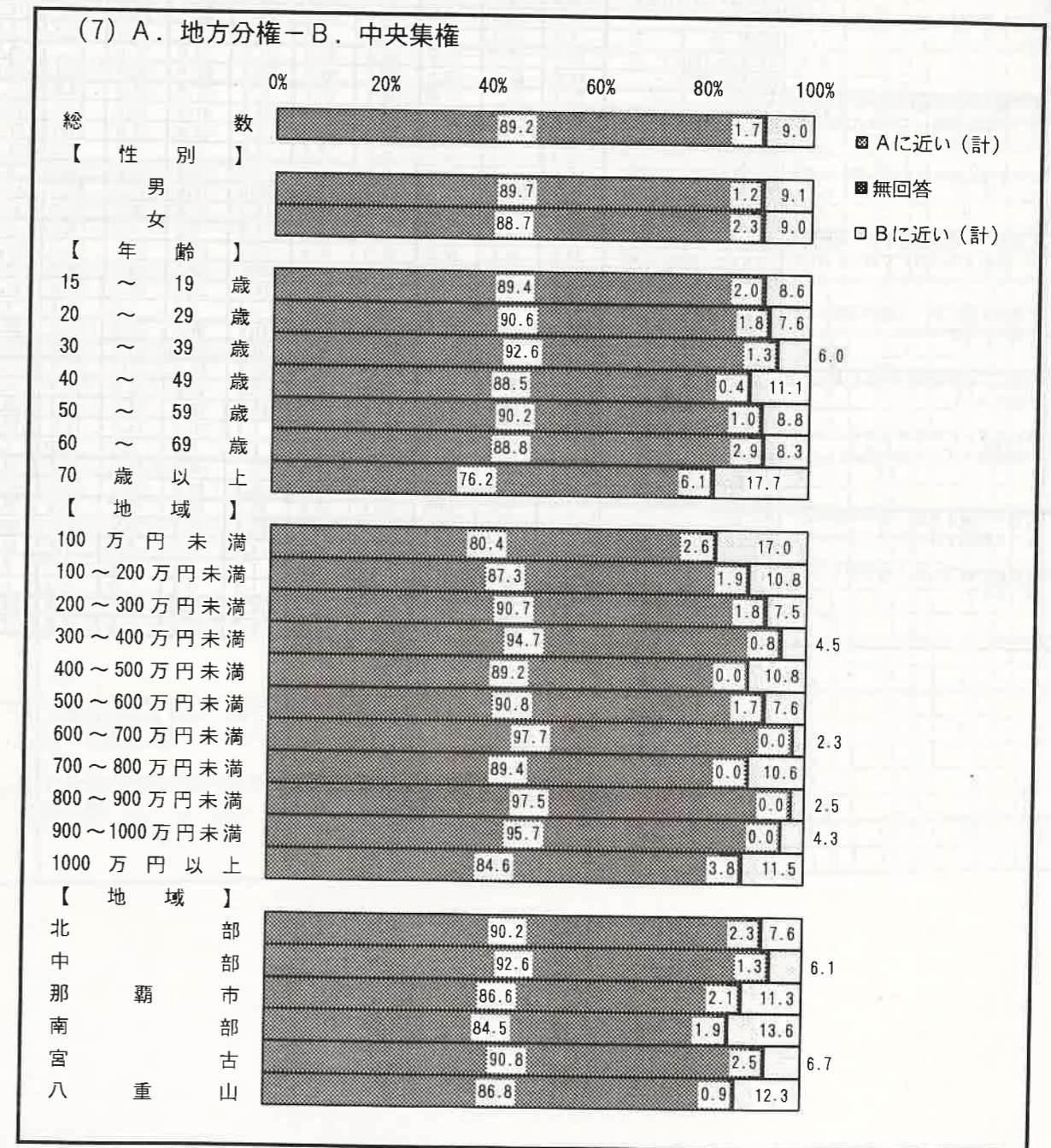


表4-1-1 県民の価値観

		【性別】		【年齢別】							(%)
		県計		15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
		男性	女性								
(1)	A いつでも仕事を優先させる	16.8	20.3	13.2	6.5	14.0	9.1	20.1	22.4	22.6	19.9
	B 休みをつぶしてまで仕事をしようとは思わない	33.3	34.2	32.4	31.0	24.6	30.8	33.9	40.9	40.9	24.3
	Aに近い	29.3	27.5	31.2	36.3	31.7	35.9	26.5	24.6	24.2	28.7
	どちらかといえばAに近い	18.8	16.3	21.5	24.1	28.3	23.8	19.1	11.0	8.8	19.3
	Bに近い	1.7	1.7	1.8	2.0	1.4	0.4	0.4	1.2	3.6	7.7
	無回答	50.1	54.5	45.6	37.6	38.6	39.9	54.1	63.3	63.4	44.2
(2)	A 物質的豊かさより精神的豊かさがより大切である	48.2	43.8	52.7	60.4	60.0	59.7	45.6	35.6	33.0	48.1
	B 精神的豊かさより物質的豊かさがより大切である	36.2	31.6	41.0	31.0	40.7	38.4	34.1	37.3	35.6	31.5
	Aに近い	43.7	45.1	42.3	43.7	35.4	45.7	47.5	40.5	48.9	42.5
	どちらかといえばAに近い	14.0	16.3	11.6	18.4	16.1	11.9	13.4	16.3	11.4	10.5
	Bに近い	4.0	5.0	3.0	4.9	4.6	3.0	4.2	4.9	1.2	7.7
	無回答	2.0	2.0	2.1	2.0	3.2	0.9	0.7	1.0	2.9	7.7
(3)	A 女性も外に出てとんとん働いた方がいい	8.9	9.8	8.0	9.4	5.3	8.7	6.9	8.1	12.4	18.2
	B 女性も外に出てとんとん働いた方がいい	24.6	27.5	21.7	15.9	23.9	22.5	26.7	24.0	28.7	30.4
	Aに近い	36.8	37.3	36.3	40.4	36.3	42.3	40.3	31.4	34.0	27.6
	どちらかといえばAに近い	27.8	24.0	31.8	33.1	32.6	25.7	25.1	34.6	22.1	18.2
	Bに近い	1.8	1.4	2.2	1.2	1.8	0.8	1.1	2.0	2.9	5.5
	無回答	33.5	37.3	29.7	25.3	29.2	31.2	33.6	32.0	41.1	48.6
(4)	A 年齢や勤務年数にかかわらず、能力と実績を重視して賃金と地位が決められることが望ましい	64.6	61.2	68.1	73.5	69.0	68.1	65.4	66.0	56.1	45.9
	B 女性も外に出てとんとん働いた方がいい	32.4	31.7	33.0	34.7	39.1	37.1	31.8	34.0	23.5	17.1
	Aに近い	40.2	41.3	39.1	34.7	38.4	42.9	41.0	39.1	41.8	40.9
	どちらかといえばAに近い	20.1	20.3	19.8	23.7	18.4	15.5	22.8	17.9	24.0	21.5
	Bに近い	5.9	5.5	6.2	4.5	2.8	3.8	4.1	8.4	8.3	14.4
	無回答	1.5	1.1	1.8	2.4	1.4	0.8	0.4	0.6	2.4	6.1
(5)	A 多少、土地が高価でも、利便性のよい都心(街の中)で暮らす方がいい	72.6	73.0	72.1	69.4	77.5	80.0	72.8	73.1	65.3	58.0
	B 多少不便でも、土地の安価な郊外で暮らす方がいい	26.0	25.9	26.1	28.2	21.1	19.3	26.9	26.3	32.3	35.9
	Aに近い	7.5	5.5	9.5	9.8	8.3	5.9	8.5	7.5	6.2	7.2
	どちらかといえばAに近い	29.2	30.2	28.2	31.0	34.5	35.7	27.9	23.2	27.1	21.0
	Bに近い	40.0	39.4	40.5	35.9	39.3	40.6	42.2	38.7	40.6	39.8
	無回答	21.8	23.0	20.6	21.2	16.1	17.4	21.4	29.5	23.8	24.9
(6)	A 新しいものは大いに取り入れて改革してほしい	1.5	1.8	1.2	2.0	1.8	0.4	0.0	1.2	2.4	7.2
	B いたずらに改革するより古いものの価値を大切にすることがよい	36.7	35.8	37.7	40.8	42.8	41.6	36.4	30.6	33.3	28.2
	Aに近い	61.8	62.4	61.2	57.1	55.4	58.0	63.6	68.2	64.4	64.6
	どちらかといえばAに近い	17.8	18.4	17.1	26.5	21.1	21.6	13.3	15.7	15.0	13.3
	Bに近い	39.4	43.8	34.9	31.4	48.3	48.6	43.6	35.4	24.7	34.3
	無回答	30.9	27.3	34.6	29.8	21.8	26.7	32.7	34.2	40.4	29.8
(7)	A 地方分権を進め、県や市町村にもっと権限を移したほうがいい	10.5	9.2	11.9	11.0	7.4	1.7	10.1	14.3	17.6	17.7
	B 政府が権限の多くを管理しているほうがいい	1.4	1.2	1.6	1.2	1.4	1.5	0.4	0.4	2.4	5.0
	Aに近い	57.2	62.3	52.0	58.0	69.4	70.1	56.9	51.1	39.7	47.5
	どちらかといえばAに近い	41.4	36.6	46.4	40.8	29.2	28.4	42.8	48.5	58.0	47.5
	Bに近い	33.0	36.0	29.9	31.8	35.6	30.2	32.2	35.6	32.8	32.6
	無回答	56.2	53.7	58.8	57.6	54.9	62.4	56.4	54.6	56.1	43.6

表4-1-1 県民の価値観(続き)

		【地域別】					
		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
(1)	A いつでも仕事を優先させる	24.2	16.4	15.2	16.7	17.5	12.3
	B 休みをつぶしてまで仕事をしようとは思わない	32.6	31.9	34.9	34.1	35.8	34.9
	Aに近い	26.5	29.9	32.2	27.5	22.5	27.4
	どちらかといえばAに近い	14.4	20.8	14.9	19.4	23.3	24.5
	Bに近い	2.3	1.0	2.7	2.3	0.8	0.9
	無回答	56.8	48.3	50.1	50.8	53.3	47.2
(2)	A 物質的豊かさより精神的豊かさがより大切である	40.9	50.7	47.2	46.9	45.8	51.9
	B 精神的豊かさより物質的豊かさがより大切である	34.8	41.0	31.3	31.8	38.3	35.8
	Aに近い	37.1	42.0	48.1	45.0	43.3	46.2
	どちらかといえばAに近い	18.9	11.7	13.7	16.7	15.0	15.1
	Bに近い	6.8	4.0	4.5	3.5	0.0	1.9
	無回答	2.3	1.3	2.4	3.1	3.3	0.9
(3)	A 女性も外に出てとんとん働いた方がいい	72.0	83.0	79.4	76.7	81.7	82.1
	B 女性も外に出てとんとん働いた方がいい	25.8	15.7	18.2	20.2	15.0	17.0
	Aに近い	9.8	9.6	7.2	8.1	11.7	10.4
	どちらかといえばAに近い	18.9	24.3	26.0	27.5	23.3	21.7
	Bに近い	37.1	35.0	39.1	38.8	35.8	33.0
	無回答	33.3	29.8	24.8	22.9	28.3	34.9
(4)	A 年齢や勤務年数にかかわらず、能力と実績を重視して賃金と地位が決められることが望ましい	0.8	1.3	3.0	2.7	0.8	0.0
	B 女性も外に出てとんとん働いた方がいい	28.8	33.9	33.1	35.7	35.0	32.1
	Aに近い	70.5	64.8	63.9	61.6	64.2	67.9
	どちらかといえばAに近い	34.1	32.4	30.1	34.1	29.2	36.8
	Bに近い	36.4	40.7	43.0	36.4	45.8	38.7
	無回答	19.7	19.7	18.2	24.4	16.7	20.8
(5)	A 多少、土地が高価でも、利便性のよい都心(街の中)で暮らす方がいい	8.3	6.1	6.9	3.1	7.5	2.8
	B 多少不便でも、土地の安価な郊外で暮らす方がいい	1.5	1.2	1.8	1.9	0.8	0.9
	Aに近い	70.5	73.1	73.1	70.5	75.0	75.5
	どちらかといえばAに近い	28.0	25.8	25.1	27.5	24.2	23.6
	Bに近い	3.0	5.1	13.4	7.8	5.8	8.5
	無回答	23.5	25.5	41.5	26.4	30.0	21.7
(6)	A 新しいものは大いに取り入れて改革してほしい	43.2	44.8	29.6	39.9	41.7	40.6
	B いたずらに改革するより古いものの価値を大切にすることがよい	29.5	23.5	12.8	24.4	21.7	28.3
	Aに近い	0.8	1.2	2.7	1.6	0.8	0.9
	どちらかといえばAに近い	26.5	30.6	54.9	34.1	35.8	30.2
	Bに近い	72.7	68.3	42.4	64.3	63.3	68.9
	無回答	22.0	18.5	13.7	17.8	20.8	20.8
(7)	A 地方分権を進め、県や市町村にもっと権限を移したほうがいい	34.8	40.0	45.1	34.9	30.8	39.6
	B 政府が権限の多くを管理しているほうがいい	30.3	30.6	29.3	33.3	35.8	29.2
	Aに近い	12.1	9.8	10.1	12.0	11.7	9.4
	どちらかといえばAに近い	0.8	1.2	1.8	1.9	0.8	0.9
	Bに近い	56.8	58.5	58.8	52.7	51.7	60.4
	無回答	42.4	40.3	39.4	45.3	47.5	38.7

表4-1-1 県民の価値観(続き)

		年 取 別										
		100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1,000万円未満	1,000万円以上
(1)	Aいつでも仕事を優先させる	18.9	18.3	15.2	14.9	14.4	16.8	22.2	14.4	16.5	19.1	23.1
	B休みをつぶしてまで仕事をしようとは思わない	23.0	32.5	31.4	35.6	31.7	39.1	33.9	42.3	49.4	40.4	34.6
	どちらかといえばAに近い	32.6	28.1	29.4	31.1	37.1	28.2	21.6	26.9	21.5	19.1	21.2
	どちらかといえばBに近い	22.6	18.8	21.5	17.8	16.9	16.0	22.2	16.3	10.1	21.3	17.3
	無回答	3.0	2.3	2.6	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	3.8
(2)	A物質的豊かさより精神的豊かさがより大切である	38.1	33.2	36.7	37.5	36.7	36.1	36.8	25.0	49.4	44.7	51.0
	B精神的豊かさより物質的豊かさがより大切である	40.4	40.8	45.8	46.3	40.3	49.6	45.0	54.8	48.1	38.3	24.0
	どちらかといえばAに近い	11.9	18.5	10.5	12.5	16.5	9.7	17.5	16.3	2.5	12.8	17.3
	どちらかといえばBに近い	4.4	5.6	4.3	3.7	5.8	4.2	0.0	3.8	0.0	4.3	3.8
	無回答	5.2	1.9	2.8	0.0	0.7	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	3.8
(3)	A女性は家において家事や育児に専念した方がいい	17.4	9.4	7.3	8.8	7.9	5.5	4.7	8.7	5.1	8.5	9.6
	B女性も外に出てどんどん働いた方がいい	20.7	26.2	24.5	24.2	27.3	26.1	22.8	26.0	29.1	29.8	18.3
	どちらかといえばAに近い	32.2	40.0	35.7	37.5	37.4	40.3	40.9	27.9	31.6	29.8	37.5
	どちらかといえばBに近い	26.7	22.3	30.4	27.9	27.3	28.2	31.6	37.5	29.1	31.9	30.8
	無回答	3.0	2.1	2.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	3.8
(4)	A年齢や勤務年数にかかわらず、能力と実績を重視して賃金と地位が決められることが望ましい	24.8	32.5	33.5	36.4	32.7	37.8	32.2	22.1	35.4	17.0	35.6
	B女性も外に出てどんどん働いた方がいい	37.4	32.6	38.3	39.4	48.2	40.8	51.5	47.1	49.4	63.8	34.6
	どちらかといえばAに近い	22.2	27.6	20.3	18.6	14.4	15.5	13.5	24.0	15.2	19.1	20.2
	どちらかといえばBに近い	11.5	5.8	6.7	5.1	4.7	5.9	2.9	6.7	0.0	0.0	7.7
	無回答	4.1	1.6	1.2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
(5)	A多少、土地が高価でも、利便性のよい都心(街の中)で暮らす方がいい	4.4	8.0	6.3	8.0	5.0	7.6	7.0	13.5	6.3	14.9	17.3
	B多少不便でも、土地の安価な郊外で暮らす方がいい	22.6	22.2	27.4	32.2	34.2	34.9	29.2	40.4	31.6	38.3	27.9
	どちらかといえばAに近い	40.7	43.1	43.6	41.8	38.8	38.2	43.3	27.9	29.1	29.8	27.9
	どちらかといえばBに近い	28.1	25.3	20.9	18.1	20.5	19.3	20.5	18.3	30.4	17.0	23.1
	無回答	4.1	1.4	1.8	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	3.8
(6)	A新しいものは大いに取り入れて改革してほしい	19.6	17.5	16.2	17.3	16.9	18.5	21.1	19.2	12.7	17.0	24.0
	Bいたずらに改革するより古いものの価値を大切にするのがよい	28.9	33.9	36.1	46.3	45.3	42.4	49.7	43.3	45.6	53.2	34.6
	どちらかといえばAに近い	30.0	32.8	37.3	29.0	28.1	26.5	25.1	32.7	31.6	25.5	29.8
	どちらかといえばBに近い	19.6	14.1	8.7	6.9	9.7	11.8	4.1	4.8	10.1	4.3	7.7
	無回答	1.9	1.7	1.8	0.5	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8
(7)	A地方分権を進め、県や市町村にもっと権限を移したほうがいい	30.4	30.2	32.7	30.3	35.3	31.9	46.2	37.5	32.9	36.2	47.1
	B政府が権限の多くを管理しているほうがいい	50.0	57.1	58.0	64.4	54.0	58.8	51.5	51.9	64.6	59.6	37.5
	どちらかといえばAに近い	11.9	8.0	5.9	4.5	10.1	4.6	2.3	8.7	2.5	4.3	9.6
	どちらかといえばBに近い	5.2	2.8	1.6	0.0	0.7	2.9	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9
	無回答	2.6	1.9	1.8	0.8	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8
(計)	Aに近い(計)	80.4	87.3	90.7	94.7	89.2	90.8	97.7	89.4	97.5	95.7	84.6
	Bに近い(計)	17.0	10.8	7.5	4.5	10.8	7.6	2.3	10.6	2.5	4.3	11.5

2 本県(民)の長所と短所(問6)

(1) 本県(民)の長所

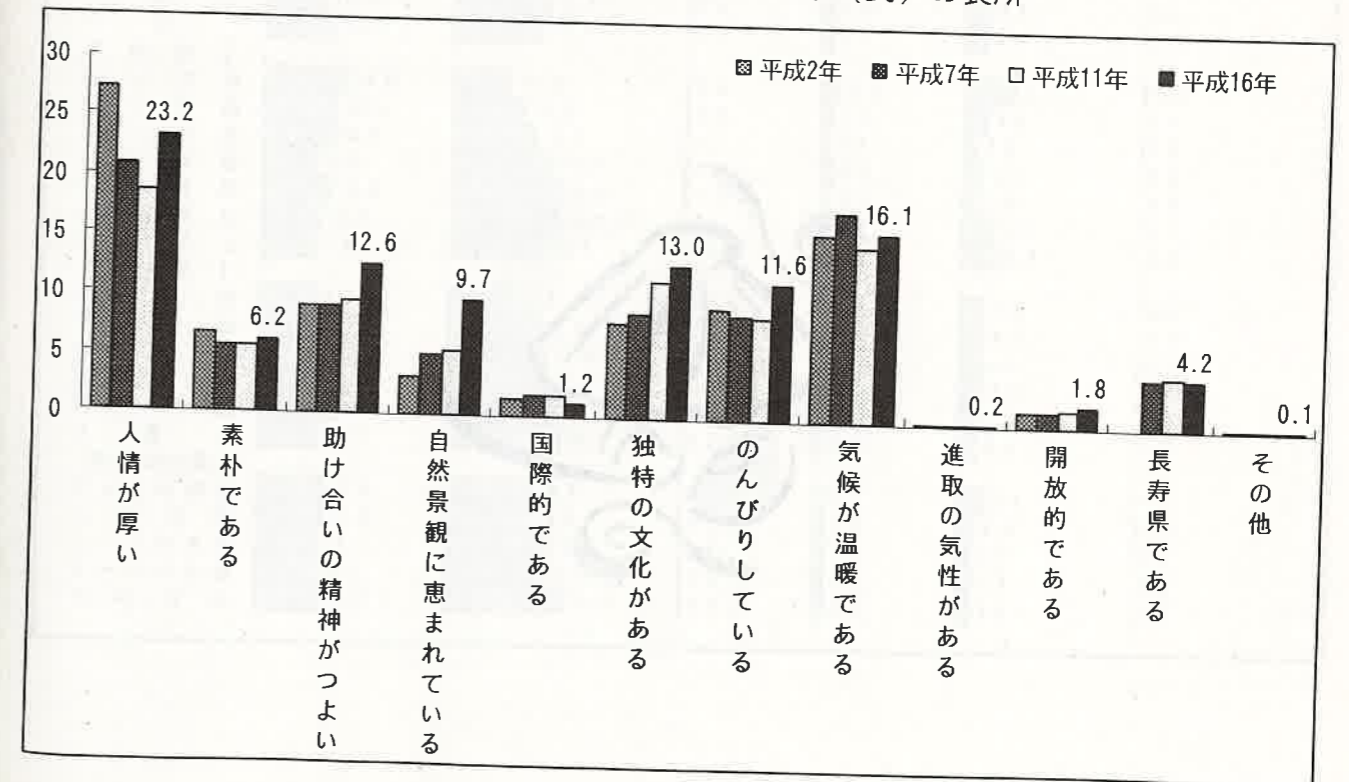
本県あるいは県民の「長所」について、一般的に本県の長所と言われている事柄12項目を選び、その中から順位をつけて3項目を選択してもらった。選択された3つの長所の1位、2位、3位それぞれの比率のほか、選択された長所を総合的に評価するため、1位に3点、2位に2点、3位に1点のウエイトづけをし、各長所の加重平均を求めた。以下、結果については加重平均でとらえている。

県全体の評価を示したのが図4-2-1である。時系列比較については、平成2年調査から「自然景観に恵まれている」、平成7年調査から「長寿県である」がそれぞれ追加され、また、今回調査で削除した項目もあるため、単純比較ができないことに注意する必要がある。

長所として最も高い値の項目は、前回調査同様に「人情が厚い」(23.2)であり、時系列で見ると、前回まで低下傾向にあったが、今回4.5ポイント増加した。以下、「気候が温暖である」(16.1)、「独特の文化がある」(13.0)、「助け合いの精神がつよい」(12.6)、「のんびりしている」(11.6)、「自然景観に恵まれている」(9.7)が続いている。この5項目のなかで、「自然景観に恵まれている」は前回調査と比べて4.3ポイント増加し、増加傾向にあるといえる。さらに、「助け合いの精神がつよい」と「のんびりしている」は前回調査と比べて3.0ポイント前後の増加となっている。

一方、「進取の気性がある」(0.2)、「国際的である」(1.2)、「開放的である」(1.8)、「長寿県である」(4.2)、「素朴である」(6.2)は長所としては低い評価となっている。

図4-2-1 加重平均でみた県(民)の長所



(2) 属性別にみた本県(民)の長所

本県あるいは県民の「長所」について、属性別に加重平均で示したのが図4-2-2である。

県民の「長所」についての捉え方は、前回調査と同様、際立った男女差はみられない。年齢別にみると、県平均で1位の「人情が厚い」はどの年齢層でも1位にあげられているが、若い年齢層よりも高い年齢層での評価が高い傾向にある。さらに、「気候が温暖である」についても中高年齢層での評価が高いのに対し、若い年齢層では「独特の文化がある」に対する評価が高い傾向にある。

地域別にみると、特徴的な差があらわれている。「気候が温暖である」は八重山の20.0に対し、北部では10.5と差が大きい。八重山では「自然景観に恵まれている」(20.8)も高い反面、「人情が厚い」や「助け合いの精神がつよい」の内面性の評価は低めになっている。宮古では「独特の文化がある」が他の地域に比べて低い。

県外居住経験年数によっても長所の評価に差がみられ、県外居住経験のない人、あるいは県外居住年数の短い人ほど「人情が厚い」の評価が高い傾向にある。一方、県外居住年数の長い人ほど「気候が温暖である」や「自然景観に恵まれている」の評価が高くなっている。



図4-2-2 属性別加重平均でみた県(民)の長所

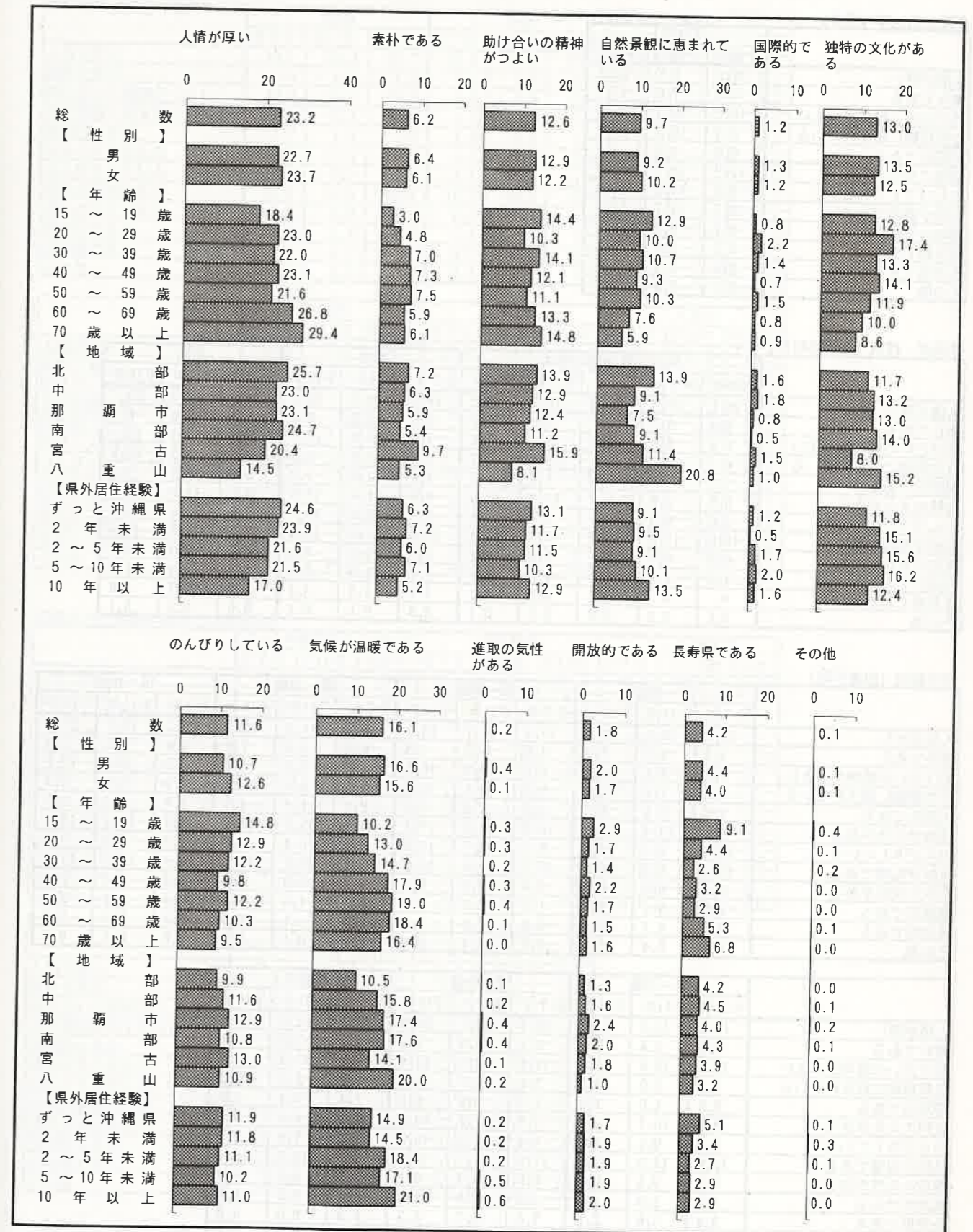


表4-2-1 属性別加重平均でみた県(民)の長所

①順位別比率(県計) (%)

	【今回】		
	1番目	2番目	3番目
人情が厚い	37.2	9.7	52.2
素朴である	5.8	7.6	17.7
助け合いの精神がつよい	10.2	18.3	35.5
自然景観に恵まれている	8.4	12.3	28.2
国際的である	0.8	1.5	4.1
独特の文化がある	11.2	14.7	39.7
のんびりしている	8.2	14.3	37.4
気候が温暖である	13.9	14.7	52.3
進取の気性がある	0.1	0.2	0.9
開放的である	0.5	2.2	7.5
長寿県である	2.6	3.1	16.5
その他	0.1	0.0	0.2

②県計、性別(加重平均)

	県計加重平均の推移					男性			女性		
	昭59年	平2年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
人情が厚い	26.1	27.3	20.8	18.5	23.2	19.8	18.0	22.7	21.7	18.9	23.7
素朴である	8.0	6.7	5.7	5.6	6.2	5.8	5.2	6.4	5.8	6.0	6.1
助け合いの精神がつよい	9.6	9.0	9.0	9.6	12.6	9.0	9.9	12.9	9.0	9.4	12.2
自然景観に恵まれている	*	3.2	5.1	5.4	9.7	5.5	5.8	9.2	4.7	5.0	10.2
国際的である	1.2	1.5	1.8	1.9	1.2	1.6	1.8	1.3	2.0	2.1	1.2
独特の文化がある	8.8	8.0	8.9	11.6	13.0	9.3	11.6	13.5	8.6	11.8	12.5
のんびりしている	8.6	9.3	8.9	8.7	11.6	8.7	8.6	10.7	8.8	8.6	12.6
気候が温暖である	13.0	15.9	17.7	14.9	16.1	17.8	15.3	16.6	17.7	14.7	15.6
進取の気性がある	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.4	0.1	0.3	0.1
開放的である	1.6	1.3	1.4	1.6	1.8	1.7	1.9	2.0	1.2	1.4	1.7
長寿県である	*	*	4.2	4.5	4.2	3.3	4.3	4.4	5.0	4.7	4.0
その他	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1

③年齢別(加重平均)

	15~19歳			20~29歳			30~39歳			40~49歳		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
人情が厚い	15.8	16.9	18.4	19.4	16.7	23.0	19.8	16.6	22.0	20.2	15.1	23.1
素朴である	5.3	3.8	3.0	4.8	5.3	4.8	6.8	6.3	7.0	5.6	7.5	7.3
助け合いの精神がつよい	7.3	7.1	14.4	8.2	7.9	10.3	8.2	7.2	14.1	8.5	9.6	12.1
自然景観に恵まれている	7.2	7.7	12.9	5.2	6.1	10.0	5.9	6.0	10.7	4.9	5.0	9.3
国際的である	1.3	5.4	0.8	3.3	2.0	2.2	2.3	1.9	1.4	1.6	2.6	0.7
独特の文化がある	9.2	13.4	12.8	13.0	12.3	17.4	10.3	15.5	13.3	8.3	11.3	14.1
のんびりしている	13.0	9.6	14.8	8.1	8.7	12.9	8.2	8.4	12.2	9.3	9.3	9.8
気候が温暖である	12.4	8.0	10.2	13.7	11.6	13.0	17.3	15.1	14.7	20.8	17.9	17.9
進取の気性がある	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.2	0.2	0.4	0.3
開放的である	2.2	3.1	2.9	1.7	2.8	1.7	1.5	1.4	1.4	1.5	1.1	2.2
長寿県である	4.5	6.1	9.1	3.2	3.2	4.4	2.9	4.1	2.6	3.8	3.9	3.2
その他	0.2	0.4	0.4	0.5	0.4	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0

	50~59歳			60~69歳			70歳以上		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
人情が厚い	19.3	21.9	21.6	26.7	24.7	26.8	26.2	22.8	29.4
素朴である	7.3	4.4	7.5	4.1	4.9	5.9	4.7	2.8	6.1
助け合いの精神がつよい	10.3	10.8	11.1	11.2	13.5	13.3	8.1	13.3	14.8
自然景観に恵まれている	5.2	4.0	10.3	3.1	4.3	7.6	4.7	5.9	5.9
国際的である	0.8	1.0	1.5	1.3	0.9	0.8	1.4	0.4	0.9
独特の文化がある	9.2	10.7	11.9	4.7	7.1	10.0	4.1	6.5	8.6
のんびりしている	8.8	9.5	12.2	8.4	7.2	10.3	7.9	7.8	9.5
気候が温暖である	19.8	14.9	19.0	17.5	16.1	18.4	16.7	16.9	16.4
進取の気性がある	0.3	0.6	0.4	0.0	0.3	0.1	0.0	0.6	0.0
開放的である	1.0	2.0	1.7	1.3	1.0	1.5	0.4	0.2	1.6
長寿県である	3.4	3.6	2.9	7.4	6.7	5.3	6.9	8.0	6.8
その他	0.3	0.1	0.0	0.1	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0

表4-2-1 属性別加重平均でみた県(民)の長所(続き)

④地域別(加重平均)

	北部			中部			那覇市		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
人情が厚い	19.1	21.3	25.7	22.0	19.3	23.0	20.6	17.7	23.1
素朴である	4.3	5.1	7.2	5.1	5.8	6.3	7.2	6.3	5.9
助け合いの精神がつよい	10.3	12.8	13.9	9.2	9.0	12.9	8.6	8.1	12.4
自然景観に恵まれている	8.6	7.1	13.9	4.0	4.0	9.1	3.9	5.1	7.5
国際的である	1.7	1.3	1.6	2.0	2.4	1.8	2.0	1.9	0.8
独特の文化がある	7.9	10.4	11.7	9.3	12.2	13.2	9.8	12.9	13.0
のんびりしている	10.5	7.3	9.9	8.1	8.3	11.6	7.7	7.8	12.9
気候が温暖である	16.0	12.5	10.5	16.7	14.5	15.8	18.2	16.7	17.4
進取の気性がある	0.0	0.8	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.4	0.4
開放的である	1.8	1.4	1.3	1.4	1.7	1.6	1.4	2.2	2.4
長寿県である	3.5	4.3	4.2	3.5	4.8	4.5	5.4	3.9	4.0
その他	0.1	0.2	0.0	0.3	0.1	0.1	0.1	0.5	0.2

	南部			宮古			八重山		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
人情が厚い	19.6	17.5	24.7	26.5	16.3	20.4	12.6	14.6	14.5
素朴である	6.4	5.4	5.4	3.8	4.1	9.7	6.4	5.0	5.3
助け合いの精神がつよい	8.7	9.9	11.2	10.9	10.3	15.9	5.4	10.4	8.1
自然景観に恵まれている	5.8	4.7	9.1	6.1	6.6	11.4	10.8	10.8	20.8
国際的である	1.5	1.7	0.5	1.0	1.2	1.5	1.0	0.9	1.0
独特の文化がある	8.5	11.7	14.0	5.8	6.2	8.0	7.2	8.8	15.2
のんびりしている	8.9	8.4	10.8	13.7	17.9	13.0	13.6	10.6	10.9
気候が温暖である	20.3	16.6	17.6	17.2	12.3	14.1	19.5	14.4	20.0
進取の気性がある	0.1	0.2	0.4	0.8	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2
開放的である	1.0	1.2	2.0	1.3	1.6	1.8	2.3	0.9	1.0
長寿県である	4.7	4.0	4.3	2.0	6.0	3.9	4.1	5.0	3.2
その他	0.1	0.1	0.1	0.0	0.4	0.0	0.3	0.0	0.0

⑤県外居住経験年数別(加重平均)

	ずっと沖縄県に住んでいる			2年未満			2~5年未満		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
人情が厚い	23.6	20.8	24.6	21.4	16.8	23.9	18.8	20.0	21.6
素朴である	5.3	5.5	6.3	5.8	5.7	7.2	6.8	4.7	6.0
助け合いの精神がつよい	9.7	11.4	13.1	8.5	7.6	11.7	9.8	9.6	11.5
自然景観に恵まれている	4.8	4.5	9.1	4.6	6.5	9.5	5.5	5.2	9.1
国際的である	1.8	1.9	1.2	1.3	2.8	0.5	2.7	1.5	1.7
独特の文化がある	8.0	10.9	11.8	9.0	12.5	15.1	12.2	14.4	15.6
のんびりしている	8.8	9.2	11.9	8.8	7.6	11.8	7.9	7.0	11.1
気候が温暖である	17.1	13.3	14.9	18.0	16.5	14.5	17.4	19.0	18.4
進取の気性がある	0.1	0.2	0.2	0.0	0.3	0.2	0.3	0.0	0.2
開放的である	1.4	1.6	1.7	1.8	1.3	1.9	0.5	2.0	1.9
長寿県である	4.9	5.1	5.1	3.9	3.7	3.4	3.7	3.7	2.7
その他	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.3	0.0	0.2	0.1

	5~10年未満			10年以上		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
人情が厚い	17.6	15.9	21.5	14.0	12.5	17.0
素朴である	6.2	4.9	7.1	7.0	8.2	5.2
助け合いの精神がつよい	6.7	8.8	10.3	8.1	5.4	12.9
自然景観に恵まれている	7.3	5.8	10.1	6.0	7.7	13.5
国際的である	1.3	1.9	2.0	2.0	1.6	1.6
独特の文化がある	10.2	14.5	16.2	9.8	11.9	12.4
のんびりしている	10.3	10.4	10.2	8.6	8.8	11.0
気候が温暖である	18.3	14.1	17.1	23.4	18.5	21.0
進取の気性がある	0.5	0.6	0.5	0.3	0.7	0.6
開放的である	2.1	1.6	1.9	1.7	2.0	2.0
長寿県である	3.2	4.3	2.9	2.1	3.9	2.9
その他	0.7	0.1	0.0	0.1	0.5	0.0

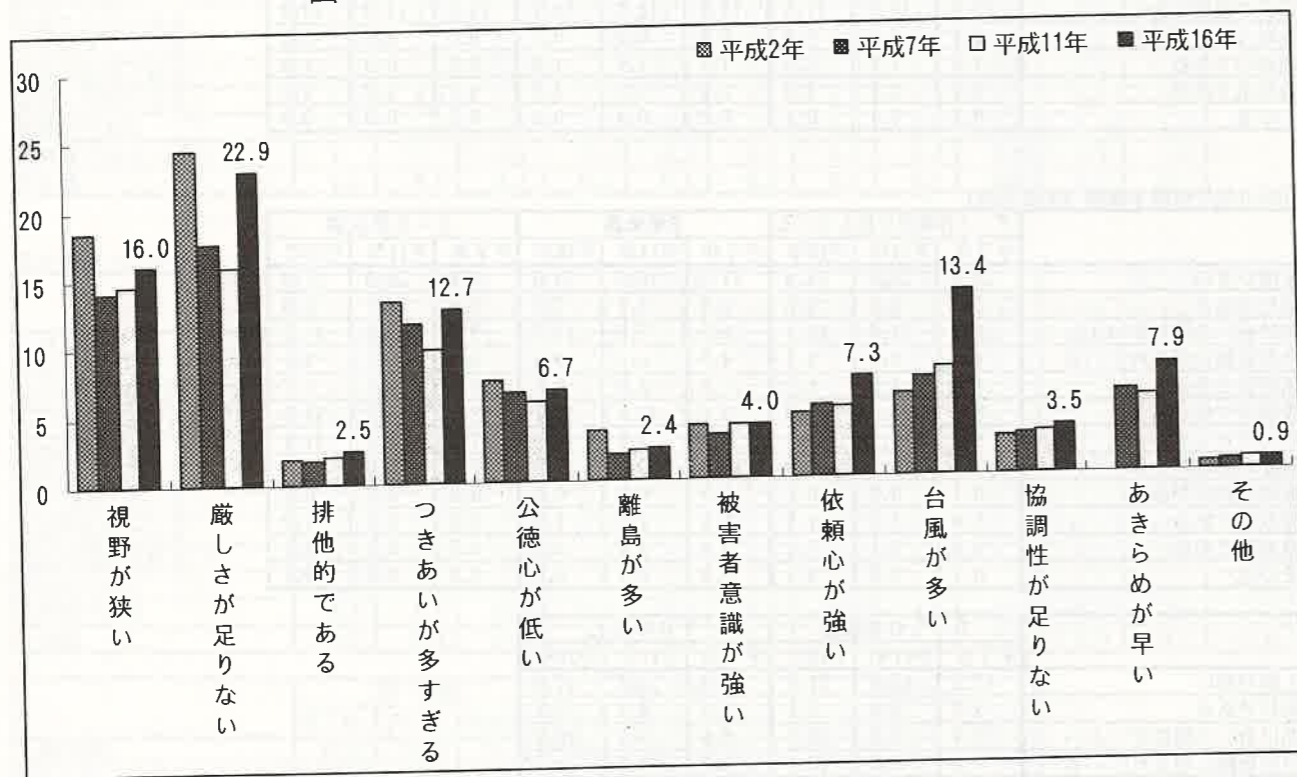
(3) 本県（民）の短所

同様に、本県あるいは県民の「短所」について、一般的に本県の短所と言われている事柄 12 項目を選び、その中から順位をつけて 3 項目を選択してもらった。選択された 3 つの短所の 1 位、2 位、3 位それぞれの比率のほか、選択された短所を総合的に評価するため、1 位に 3 点、2 位に 2 点、3 位に 1 点のウエイトづけをし、各短所の加重平均を求めた。以下、結果については加重平均でとらえている。

県全体の評価を示したのが図 4-2-3 である。時系列比較については、今回調査で削除した項目もあるため、単純比較ができないことに注意する必要がある。

短所として最も高い値の項目は、「厳しさが足りない」(22.9) であり、時系列で見ると、前回まで低下傾向にあったが、今回 7.0 ポイント増加した。以下、「視野が狭い」(16.0)、「台風が多い」(13.4)、「つきあいが多すぎる」(12.7) が続いている。この 3 項目のなかで、「台風が多い」は前回調査と比べて 5.5 ポイント増加しているが、これは調査年次に台風襲来が過去最多となったことが影響していると思われる。

図 4-2-3 加重平均でみた県（民）の短所



(4) 属性別にみた本県（民）の短所

本県あるいは県民の「短所」について、属性別に加重平均で示したのが図 4-2-4 である。

性別にみると、前回調査と同様、「つきあいが多すぎる」でわずかながら男女差がみられるが、男性が前回から 4.0 ポイント増えており、その差は縮まっている。そのほかの項目については大きな差はみられない。

年齢別にみると、県平均で 1 位の「厳しさが足りない」は 50~59 歳代、60~69 歳代でやや高く、「つきあいが多すぎる」も中高年層で高い傾向にある。一方、「視野が狭い」は若い年代層ほど高く、15~19 歳代、20~29 歳代では、1 位の短所としてあげられ、「あきらめが早い」も若い年代層ほど高くなっている。「台風が多い」は 15~19 歳代と 70 歳以上での比率が高い。

地域別にみると、「厳しさが足りない」は那覇市の 28.1 に対し、北部で 17.6、宮古で 18.2 と地域差が大きい。宮古では「台風が多い」と「つきあいが多すぎる」が他の地域に比べて高い比率となっている。

県外居住経験年数による差は、長所の評価ほど顕著なものはない。



図4-2-4 属性別加重平均でみた県(民)の短所

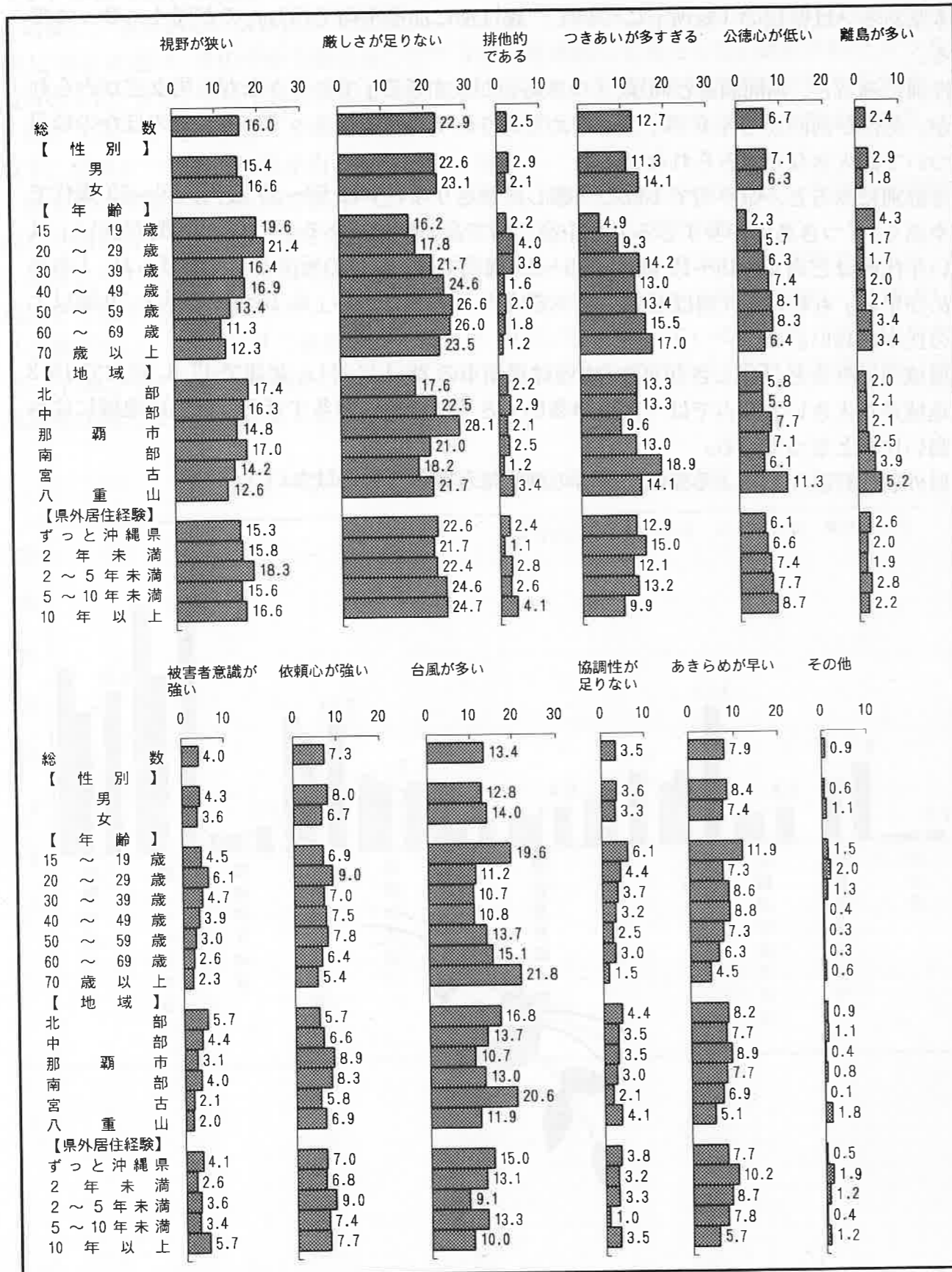


表4-2-2 属性別加重平均でみた県(民)の短所

①順位別比率(県計) (%)

	今回		
	1番目	2番目	3番目
視野が狭い	21.1	10.0	7.4
厳しさが足りない	28.7	18.6	6.6
排他的である	1.9	3.0	2.5
つきあいが多すぎる	13.7	12.1	6.8
公德心が低い	5.3	8.5	5.3
離島が多い	2.0	2.9	1.7
被害者意識が強い	2.9	4.9	4.0
依頼心が強い	4.0	9.8	10.2
台風が多い	12.9	12.2	13.0
協調性が足りない	1.3	4.4	6.9
あきらめが早い	3.3	8.7	17.7
その他	0.7	0.9	0.9

②県計、性別(加重平均)

	県計加重平均の推移						男性			女性		
	昭59年	平2年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	
視野が狭い	21.9	18.5	14.1	14.5	16.0	13.4	15.0	15.4	14.9	14.1	16.6	
厳しさが足りない	26.0	24.4	17.6	15.9	22.9	18.9	16.7	22.6	16.3	15.4	23.1	
排他的である	2.1	1.9	1.7	2.0	2.5	1.7	2.2	2.9	1.7	1.8	2.1	
つきあいが多すぎる	13.5	13.2	11.6	9.7	12.7	9.7	7.3	11.3	13.5	11.7	14.1	
公德心が低い	9.8	7.5	6.5	5.8	6.7	6.6	6.5	7.1	6.5	5.1	6.3	
離島が多い	4.9	3.6	1.9	2.2	2.4	1.9	2.9	2.9	2.0	1.6	1.8	
被害者意識が強い	4.3	3.9	3.2	3.9	4.0	3.8	4.5	4.3	2.7	3.4	3.6	
依頼心が強い	5.4	4.7	5.3	5.1	7.3	5.8	5.4	8.0	4.7	4.8	6.7	
台風が多い	8.6	6.0	7.2	7.9	13.4	7.5	8.2	12.8	6.9	7.7	14.0	
協調性が足りない	3.5	2.8	2.9	3.1	3.5	3.0	3.3	3.6	2.7	3.1	3.3	
あきらめが早い	*	*	6.0	5.5	7.9	5.9	5.2	8.4	6.0	5.8	7.4	
その他	0.6	0.6	0.8	0.9	0.9	0.7	0.7	0.6	0.8	1.1	1.1	

③年齢別(加重平均)

	15~19歳			20~29歳			30~39歳			40~49歳		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
視野が狭い	17.1	19.5	19.6	19.9	19.9	21.4	14.6	13.9	16.4	13.5	13.4	16.9
厳しさが足りない	12.2	10.2	16.2	14.8	15.4	17.8	18.7	16.4	21.7	20.1	17.7	24.6
排他的である	2.3	2.5	2.2	2.5	4.0	4.0	2.1	2.3	3.8	1.5	1.2	1.6
つきあいが多すぎる	7.3	7.6	4.9	10.5	7.3	9.3	10.5	12.0	14.2	13.0	9.0	13.0
公德心が低い	4.3	1.1	2.3	4.3	4.1	5.7	7.0	5.8	6.3	7.1	6.4	7.4
離島が多い	2.2	2.1	4.3	1.3	1.2	1.7	1.6	1.3	1.7	1.4	2.1	2.0
被害者意識が強い	3.2	6.5	4.5	3.7	5.9	6.1	3.3	2.5	4.7	3.2	4.2	3.9
依頼心が強い	4.1	3.4	6.9	4.6	4.5	9.0	5.8	5.9	7.0	6.2	4.5	7.5
台風が多い	11.1	8.2	19.6	5.4	6.2	11.2	6.0	6.2	10.7	7.2	7.7	10.8
協調性が足りない	4.2	5.9	6.1	4.6	3.4	4.4	3.1	4.1	3.7	2.2	3.4	3.2
あきらめが早い	6.6	3.8	11.9	7.2	6.3	7.3	6.7	6.9	8.6	6.1	5.7	8.8
その他	0.2	2.8	1.5	1.7	1.7	2.0	1.0	0.8	1.3	0.5	0.6	0.4

	50~59歳			60~69歳			70歳以上		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
視野が狭い	12.2	13.5	13.4	10.6	12.1	11.3	9.1	13.1	12.3
厳しさが足りない	18.1	15.9	26.6	16.7	16.2	26.0	15.9	1.5	23.5
排他的である	0.7	1.3	2.0	1.4	1.1	1.8	1.2	11.8	1.2
つきあいが多すぎる	11.7	8.1	13.4	12.9	11.6	15.5	14.6	3.9	17.0
公德心が低い	8.3	8.6	8.1	6.1	6.3	8.3	7.1	3.7	6.4
離島が多い	3.1	2.0	2.1	2.4	4.5	3.4	2.4	3.5	3.4
被害者意識が強い	3.5	2.7	3.0	2.4	3.7	2.6	2.7	3.5	2.3
依頼心が強い	4.7	7.4	7.8	4.6	4.1	6.4	4.5	15.7	5.4
台風が多い	7.5	7.3	13.7	8.7	10.5	15.1	9.6	0.7	21.8
協調性が足りない	3.0	1.7	2.5	1.9	2.1	3.0	1.6	4.6	1.5
あきらめが早い	4.6	4.9	7.3	5.3	3.2	6.3	3.9	14.0	4.5
その他	0.9	0.8	0.3	0.3	0.5	0.3	0.0	2.0	0.6

表4-2-2 属性別加重平均でみた県(民)の短所(続き)

④地域別(加重平均)

	北部			中部			那覇市		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
視野が狭い	14.2	15.0	17.4	13.1	15.4	16.3	13.7	13.7	14.8
厳しさが足りない	14.5	14.7	17.6	16.8	15.6	22.5	21.0	19.3	28.1
排他的である	1.7	1.5	2.2	1.3	1.5	2.9	2.6	3.9	2.1
つきあいが多すぎる	11.8	13.0	13.3	12.3	9.3	13.3	10.7	6.5	9.6
公德心が低い	4.5	5.1	5.8	5.4	5.5	5.8	8.2	5.4	7.7
離島が多い	2.4	3.2	2.0	1.6	1.2	2.1	1.7	1.9	2.1
被害者意識が強い	3.9	3.2	5.7	3.5	4.5	4.4	3.3	3.7	3.1
依頼心が強い	4.3	3.7	5.7	6.0	5.9	6.6	6.4	4.7	8.9
台風が多い	9.0	10.6	16.8	6.2	6.8	13.7	5.0	7.4	10.7
協調性が足りない	2.7	2.5	4.4	2.8	3.1	3.5	3.2	3.8	3.5
あきらめが早い	6.1	4.5	8.2	6.3	5.6	7.7	5.2	5.0	8.9
その他	1.1	0.8	0.9	0.9	0.7	1.1	0.3	1.3	0.4

	南部			宮古			八重山		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
視野が狭い	15.4	13.0	17.0	17.4	13.8	14.2	17.4	14.2	12.6
厳しさが足りない	17.4	14.7	21.0	16.9	15.2	18.2	15.4	12.0	21.7
排他的である	1.2	1.5	2.5	1.8	1.6	1.2	1.8	1.8	3.4
つきあいが多すぎる	10.7	9.3	13.0	14.7	21.4	18.9	11.8	7.8	14.1
公德心が低い	7.2	5.8	7.1	7.8	6.8	6.1	9.0	9.8	11.3
離島が多い	2.0	2.4	2.5	4.0	4.9	3.9	2.3	5.8	5.2
被害者意識が強い	3.0	3.5	4.0	0.3	2.5	2.1	2.8	3.3	2.0
依頼心が強い	3.1	4.5	8.3	3.6	4.7	5.8	4.4	4.9	6.9
台風が多い	9.5	8.4	13.0	11.9	10.3	20.6	12.1	10.0	11.9
協調性が足りない	2.3	3.1	3.0	3.6	2.9	2.1	4.4	2.7	4.1
あきらめが早い	6.7	6.8	7.7	3.5	4.1	6.9	5.4	5.3	5.1
その他	0.7	0.4	0.8	1.5	1.2	0.1	1.0	2.9	1.8

⑥県外居住経験年数別(加重平均)

	ずっと沖縄県に住んでいる			2年未満			2~5年未満		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
視野が狭い	13.8	14.3	15.3	14.4	15.6	15.8	14.1	15.0	18.3
厳しさが足りない	17.4	14.5	22.6	18.2	16.8	21.7	21.9	20.6	22.4
排他的である	1.4	1.5	2.4	1.1	1.9	1.1	1.5	2.5	2.8
つきあいが多すぎる	11.9	10.6	12.9	11.7	7.9	15.0	10.9	8.8	12.1
公德心が低い	5.4	5.0	6.1	6.3	6.5	6.6	8.1	7.4	7.4
離島が多い	2.2	2.5	2.6	1.0	1.5	2.0	1.2	1.7	1.9
被害者意識が強い	2.5	3.8	4.1	3.3	3.9	2.6	3.6	3.1	3.6
依頼心が強い	5.3	4.6	7.0	6.5	5.6	6.8	6.0	5.9	9.0
台風が多い	8.2	8.7	15.0	6.4	7.9	13.1	7.1	7.0	9.1
協調性が足りない	3.0	3.3	3.8	3.6	3.2	3.2	2.3	3.3	3.3
あきらめが早い	6.4	5.5	7.7	6.6	7.1	10.2	6.1	4.9	8.7
その他	0.5	0.9	0.5	0.6	0.3	1.9	1.2	0.8	1.2

	5~10年未満			10年以上		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
視野が狭い	15.1	14.9	15.6	16.5	15.8	16.6
厳しさが足りない	17.8	17.8	24.6	17.7	17.5	24.7
排他的である	2.0	0.9	2.6	3.2	4.8	4.1
つきあいが多すぎる	11.6	10.9	13.2	12.0	8.8	9.9
公德心が低い	9.4	7.2	7.7	9.7	6.9	8.7
離島が多い	2.9	2.4	2.8	2.0	1.5	2.2
被害者意識が強い	3.7	3.7	3.4	6.2	6.0	5.7
依頼心が強い	4.8	5.5	7.4	4.3	5.7	7.7
台風が多い	7.0	5.3	13.3	5.0	6.8	10.0
協調性が足りない	2.1	3.7	1.0	2.9	2.1	3.5
あきらめが早い	5.9	7.5	7.8	3.2	4.2	5.7
その他	1.5	1.1	0.4	1.4	2.2	1.2

3 居住希望(問5)

(1) 居住希望

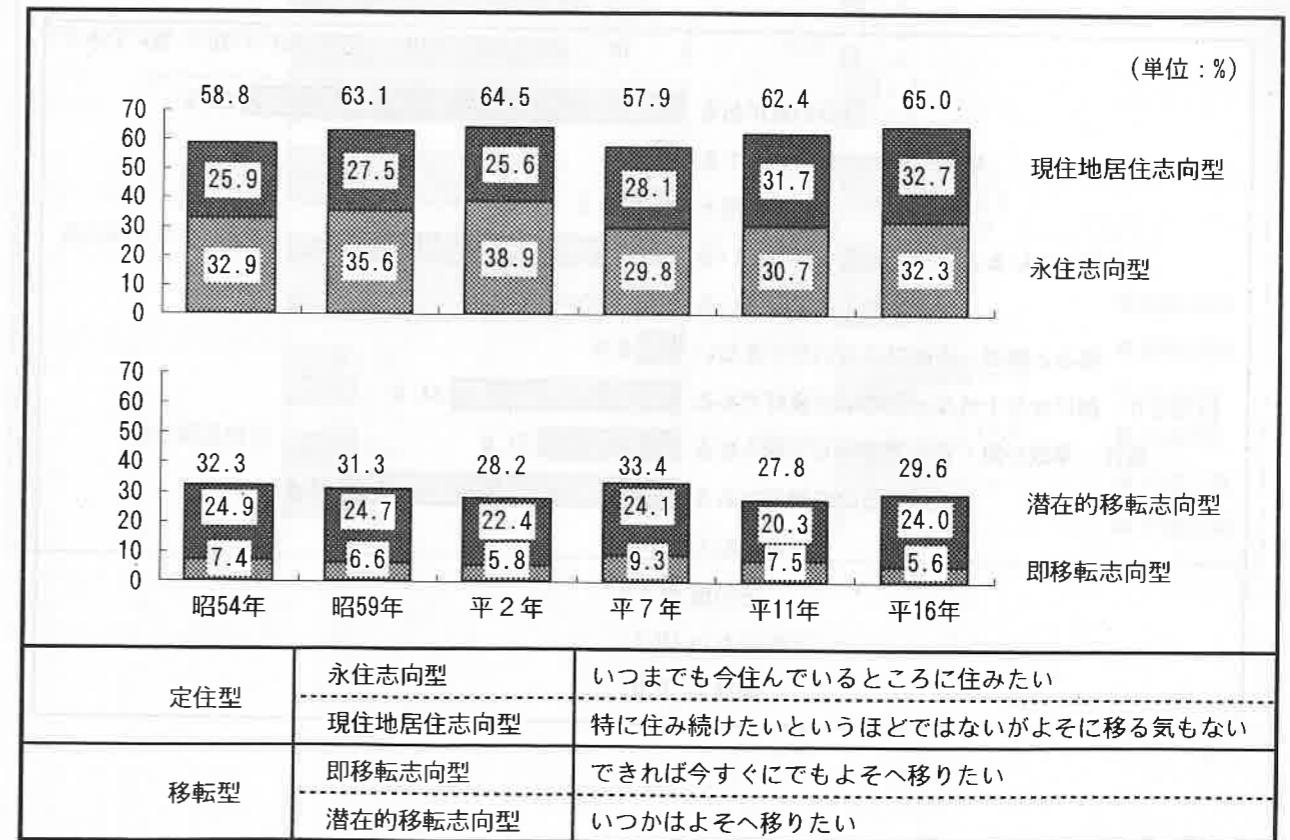
県民の定住及び移転の意向をみるため、その定住志向の強さを「いつまでも今住んでいるところに住みたい」という「永住志向型」、「特に住み続けたいというほどではないがよそに移る気もない」という「現住地居住志向型」、「いつかはよそへ移りたい」という「潜在的移転志向型」、「できれば今すぐにでもよそへ移りたい」という「即移転志向型」の4段階の選択肢から選んでもらい、次いで、その理由を尋ね、さらに、よそへ移りたいという意向を示した者については、その場所を5つの項目から選んでもらった。

これらの調査の県全体の結果を示したのが図4-3-1である。

比率の高いのは「現住地居住志向型」の32.7%と「永住志向型」の32.3%で、以下、「潜在的移転志向型」が24.0%、「即移転志向型」が5.6%となっている。また、「永住志向型」と「現住地居住志向型」を『定住型』、「潜在的移転志向型」と「即移転志向型」を『移転型』として比較すると、『定住型』が65.0%、『移転型』が29.6%となり、県全体としては、定住志向が強いことが示されている。

前回調査と比較すると、顕著な変化はみられないが、『定住型』は「永住志向型」と「現住地居住志向型」ともにわずかながら増加しており、2.6ポイントの増加となった。また、『移転型』の変化も1.8ポイントの微増であるが、「潜在的移転志向型」は3.7ポイントの増加となっている。

図4-3-1 定住の意向



次に、『定住型』の回答者に対して、定住を志向する理由を3つ選択してもらった結果は、図4-3-2に示されるように、「自分の家がある」(66.8%)が最も高く、次いで、「今住んでいるところに愛着を感じている」(53.8%)、「生活するのに便利である」(50.4%)、「日当たり、静けさが十分など住環境が良好である」(34.4%)、「事件・事故が無く安全で安心して暮らせる」(21.5%)を理由とする人が多い。

一方、『移転型』の回答者に対して、移転を志向する理由を3つ選択してもらった結果は、図4-3-3に示されるように、「自分の家を持ちたい」(50.6%)が突出して高く、次いで、「日当たりが悪く、騒音が多いなど住環境が悪い」(30.6%)、「生活するのに不便である」(19.6%)、「今住んでいる地域は将来の見通しが暗い」(16.9%)、「事件・事故の危険があり、安心して暮らせない」(15.5%)、「今住んでいるところではやりたい仕事がない」(15.1%)、「生まれ育ったところで住みたい」(14.6%)を理由とする人が多い。

さらに、『移転型』の回答者に対して、希望する移転先を5項目の中から1カ所を選択してもらったところ、図4-3-4に示すように、「県内のよその市町村」(41.6%)が最も高く、「今住んでいる市町村内」(35.1%)がこれに次いでいる。以下、「どこでもよい」(9.3%)、「他の都道府県」(8.9%)、「外国」(3.9%)の順になっている。また、「県内のよその市町村」と「今住んでいる市町村内」を合わせた『県内移転』は76.7%と高くなっている。

前回調査と比べると、「県内のよその市町村」は7.9ポイント増、「今住んでいる市町村内」は5.8ポイント増となっており、両者を合わせた『県内移転』では13.7ポイントの増加となっている。

図4-3-2 定住希望理由

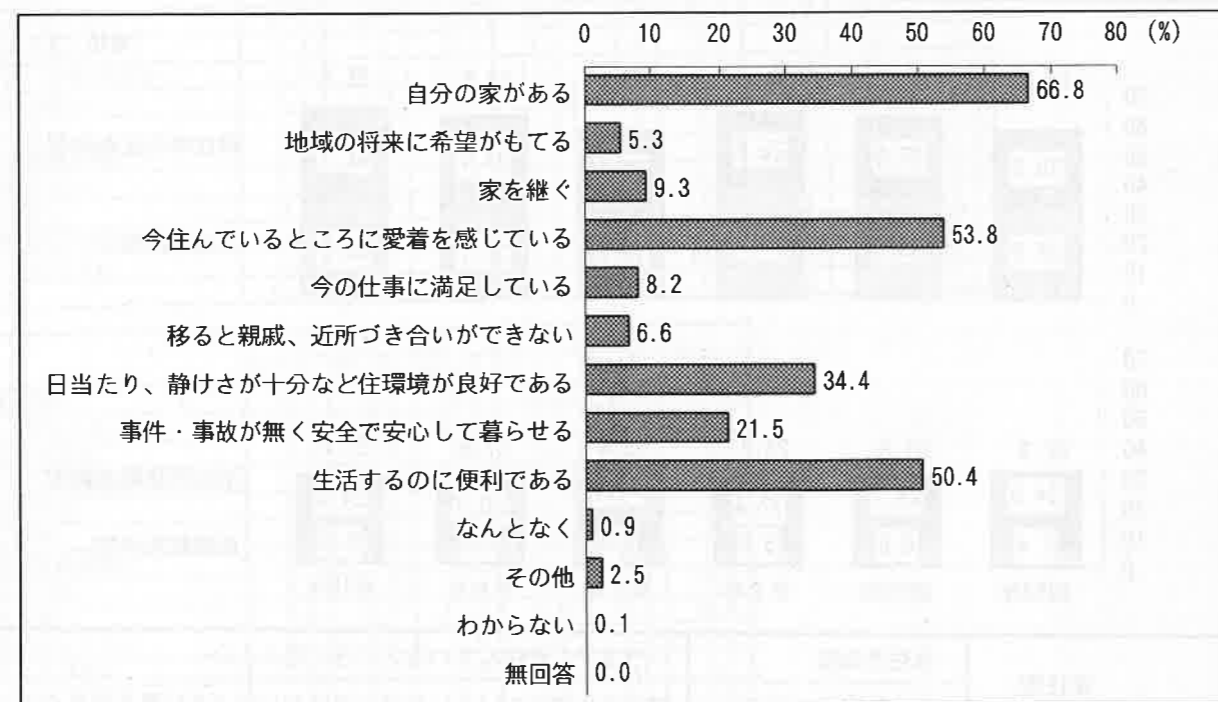


図4-3-3 移転希望理由

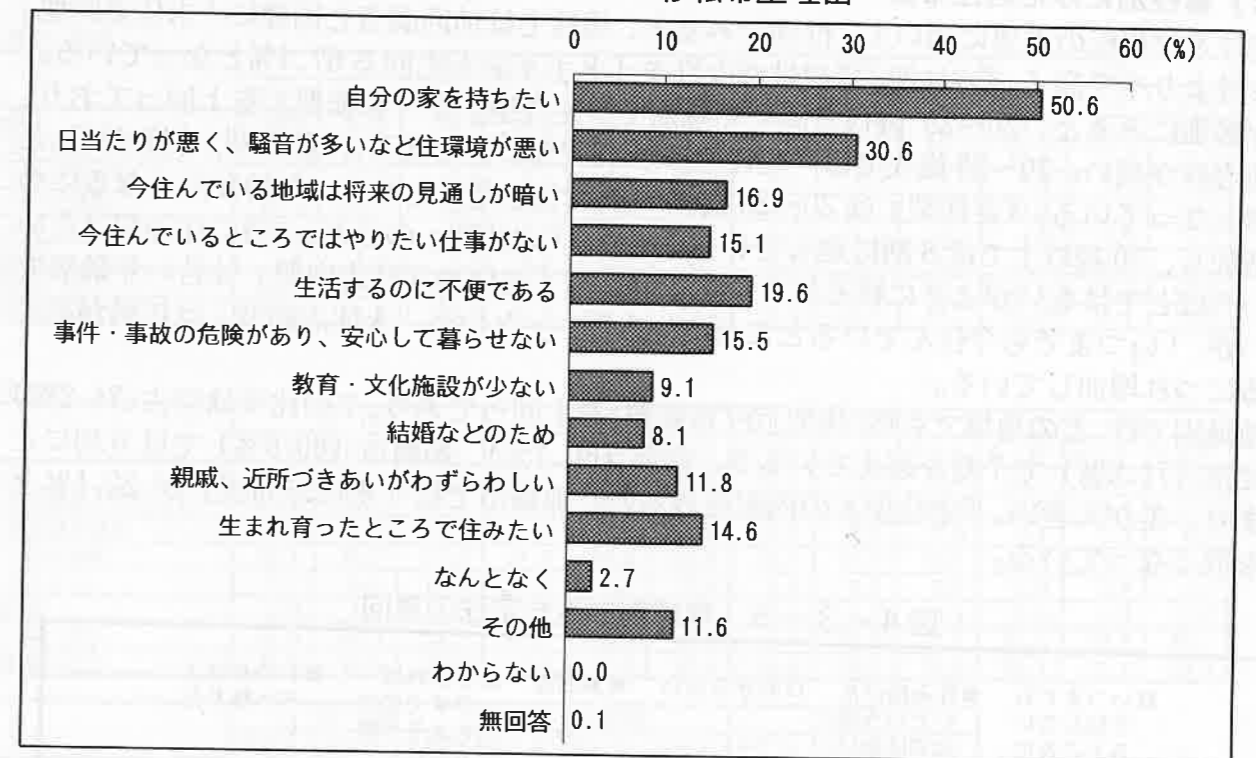
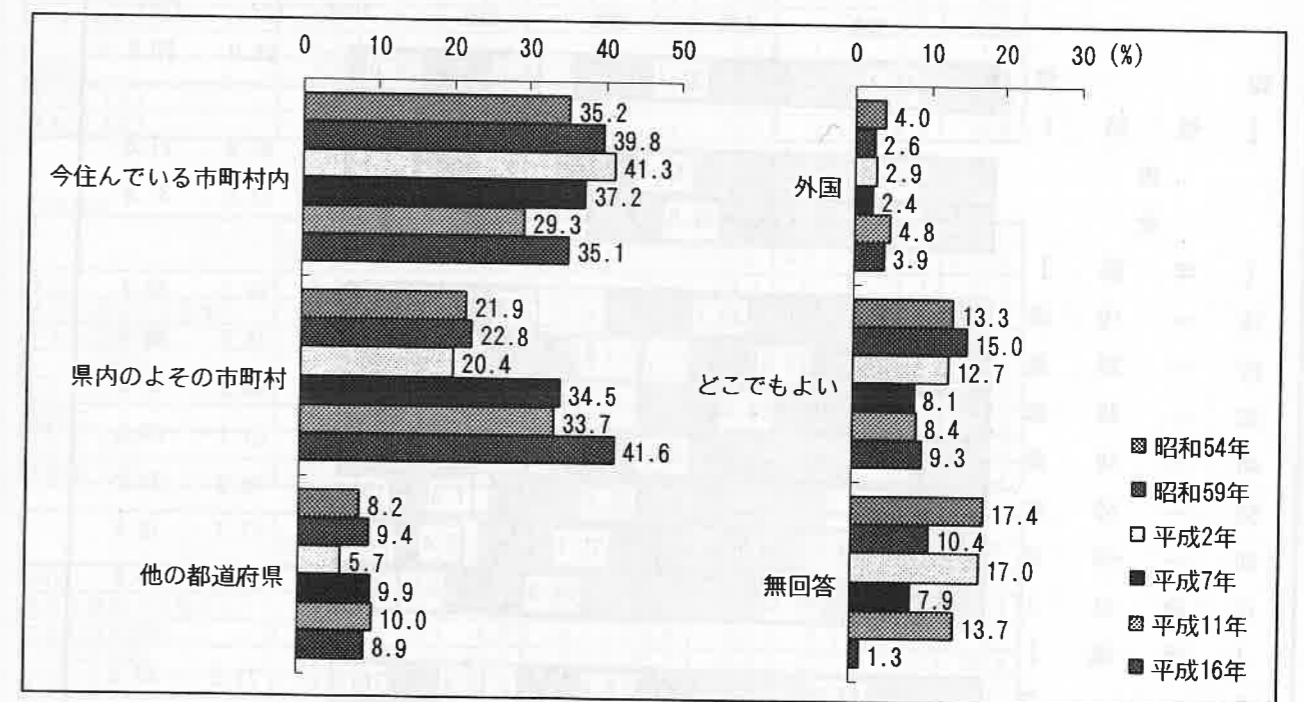


図4-3-4 希望移転先



(2) 属性別にみた居住希望

定住及び移転の希望について、性別でみると、男性では前回調査と同様に「永住志向型」が女性よりやや高く、『定住型』で男性が女性を4.8ポイント上回る67.4%となっている。

年齢別にみると、20～29歳代を除く年齢層で『定住型』が『移転型』を上回っており、定住志向が高い。20～29歳代では『定住型』が46.2%にとどまり、『移転型』(46.4%)と同率となっている。『定住型』は20～29歳代の46.2%を最低として、年齢が高くなるにつれ増加し、70歳以上では8割に達している。また、『定住型』のうち、「特に住み続けたい」というほどではないがよそに移る気もない」という「現住地居住志向型」は若い年齢層で高いが、「いつまでも今住んでいるところに住みたい」という「永住志向型」は年齢が高くなるにつれ増加している。

地域別では、どの地域でも『定住型』が『移転型』を上回っており、その比率は宮古(74.2%)と北部(71.2%)で7割を超えているが、南部(60.1%)、那覇市(60.6%)では6割にとどまり、差が大きい。『定住型』の内訳をみると、那覇市では「永住志向型」が22.1%と最も低くなっている。

図4-3-5 属性別にみた定住の意向

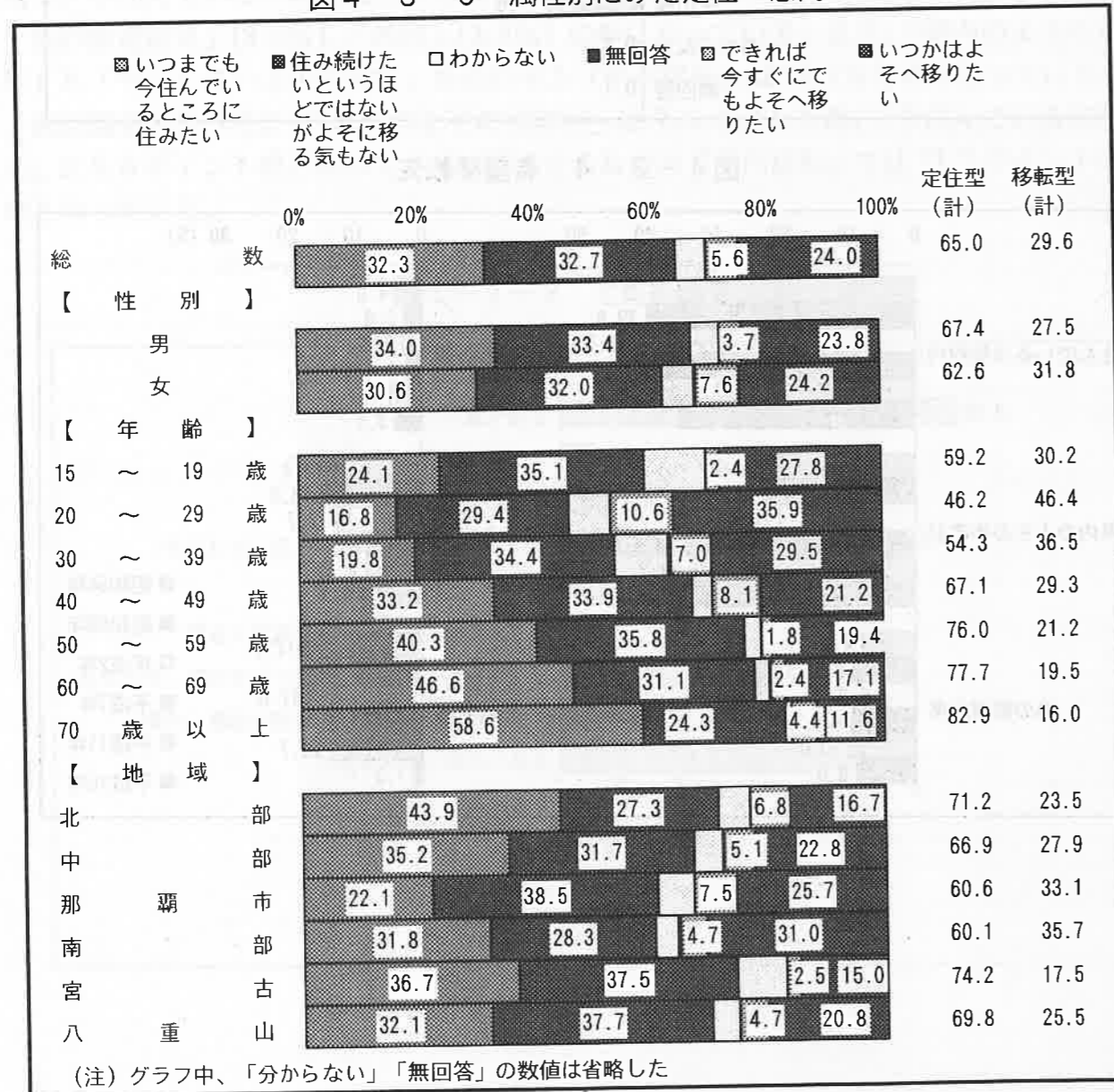


表4-3-1 定住の意向(県計、属性別)

①県計、性別 (%)

	県計の推移						男性			女性		
	昭54年	昭59年	平2年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
永住	32.9	35.6	38.9	29.8	30.7	32.3	28.9	33.3	34.0	30.5	28.6	30.6
あえて移転する気なし	25.9	27.5	25.6	28.1	31.7	32.7	28.8	32.1	33.4	27.5	31.8	32.0
できれば即移転	7.4	6.6	5.8	9.3	7.5	5.6	9.2	6.4	3.7	9.2	8.3	7.6
いつかは移転	24.9	24.7	22.4	24.1	20.3	24.0	24.6	18.7	23.8	23.8	21.8	24.2
わからない	5.3	4.6	5.8	4.1	4.5	5.2	3.7	4.3	5.1	4.6	4.7	5.3
無回答	3.6	1.0	1.5	4.6	5.3	0.1	4.8	5.3	0.0	4.4	4.9	0.3
定住型(計)	58.8	63.1	64.5	57.9	62.4	65.0	57.7	65.4	67.4	58.0	60.3	62.6
移転型(計)	32.3	31.3	28.2	33.4	27.8	29.6	33.8	25.0	27.5	33.0	30.1	31.8

②年齢別

	15～19歳			20～29歳			30～39歳			40～49歳		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
永住	17.9	10.2	24.1	15.7	18.2	16.8	14.4	18.0	19.8	28.5	29.1	33.2
あえて移転する気なし	23.1	34.1	35.1	29.4	30.9	29.4	34.5	35.8	34.4	26.8	38.0	33.9
できれば即移転	15.4	11.4	2.4	11.1	11.3	10.6	12.2	8.2	7.0	9.1	7.3	8.1
いつかは移転	32.1	35.2	27.8	31.9	30.2	35.9	33.4	27.6	29.5	26.0	17.9	21.2
わからない	7.7	8.0	10.6	8.9	5.5	7.4	3.0	6.1	8.9	3.8	3.9	3.5
無回答	3.8	1.1	0.0	3.0	4.0	0.0	2.4	4.2	0.4	5.8	3.9	0.0
定住型(計)	41.0	44.3	59.2	45.1	49.1	46.2	48.9	53.8	54.3	55.3	67.0	67.1
移転型(計)	47.5	46.6	30.2	43.0	41.5	46.4	45.6	35.8	36.5	35.1	25.1	29.3

	50～59歳			60～69歳			70歳以上		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
永住	41.9	36.1	40.3	53.2	57.5	46.6	61.0	65.9	58.6
あえて移転する気なし	26.4	34.4	35.8	23.6	19.0	31.1	23.2	14.3	24.3
できれば即移転	6.1	6.1	1.8	6.5	4.1	2.4	3.7	2.2	4.4
いつかは移転	17.5	13.5	19.4	9.7	7.7	17.1	1.2	4.4	11.6
わからない	3.3	3.7	2.8	2.3	2.7	2.4	1.2	1.1	1.1
無回答	4.9	6.1	0.0	4.6	9.0	0.5	9.8	12.1	0.0
定住型(計)	68.3	70.5	76.0	76.8	76.5	77.7	84.2	80.2	82.9
移転型(計)	23.6	19.7	21.2	16.2	11.8	19.5	4.9	6.6	16.0

③地域別

	北部			中部			那覇市		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
永住	38.9	49.2	43.9	25.8	29.5	35.2	22.1	21.3	22.1
あえて移転する気なし	25.9	23.3	27.3	29.8	32.2	31.7	31.6	34.3	38.5
できれば即移転	8.0	3.2	6.8	9.2	6.8	5.1	10.5	11.4	7.5
いつかは移転	17.9	15.9	16.7	25.8	21.7	22.8	29.0	24.4	25.7
わからない	1.2	5.8	5.3	3.2	4.9	5.0	5.1	3.7	6.3
無回答	8.1	2.6	0.0	6.2	4.9	0.2	1.7	4.9	0.0
定住型(計)	64.8	72.5	71.2	55.6	61.7	66.9	53.7	55.6	60.6
移転型(計)	25.9	19.0	23.5	35.0	28.5	27.9	39.5	35.8	33.1

	南部			宮古			八重山		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
永住	36.8	31.1	31.8	40.9	38.3	36.7	52.3	25.7	32.1
あえて移転する気なし	24.7	35.5	28.3	25.8	28.4	37.5	12.3	25.7	37.7
できれば即移転	9.0	7.5	4.7	9.1	4.9	2.5	7.7	10.8	4.7
いつかは移転	19.8	15.4	31.0	9.1	22.2	15.0	27.7	17.6	20.8
わからない	7.3	3.4	3.9	4.5	3.7	8.3	0.0	6.8	4.7
無回答	2.4	7.2	0.4	10.6	2.5	0.0	0.0	13.5	0.0
定住型(計)	61.5	66.6	60.1	66.7	66.7	74.2	64.6	51.4	69.8
移転型(計)	28.8	22.9	35.7	18.2	27.2	17.5	35.4	28.4	25.5

(3) 属性別にみた定住希望理由

定住を希望する人の理由を性別でみると、男女差の最も大きいのは「日当たり、静けさが十分など住環境が良好である」とする理由で、男性の29.1%に対し、女性は40.3%と11.2ポイント高くなっている。前回調査で差のみられた「生活するのに便利である」は男性の49.1%（前回38.8%）に対し、女性は51.8%（前回49.8%）と男性での比率が増え、前回より差が縮まっている。「家を継ぐ」、「今の仕事に満足している」でも4～5ポイントの差がみられるがいずれも男性での比率が高い。

年齢別にみると、「自分の家がある」、「事件・事故が無く安全で安心して暮らせる」は年齢が上がるにつれ、高くなる傾向にあるのに対し、「生活するのに便利である」は若い年齢層で高く、20～29歳代、30～39歳代では6割近くに達し、1位、2位の理由にあげられている。そのほか、「今住んでいるところに愛着を感じている」は15～19歳代と70歳以上で、「家を継ぐ」は30～39歳代、40～49歳代で、「今の仕事に満足している」は50～59歳代で高い比率になっている。

地域別では、県平均で1位の理由の「自分の家がある」は、南部（72.9%）で高く、八重山（52.7%）で低い。「生活するのに便利である」は那覇市で75.4%と突出しており、南部（32.3%）、北部（34.0%）との差が大きい。このほか、「事件・事故が無く安全で安心して暮らせる」は宮古、北部、南部で、「今の仕事に満足している」は八重山、宮古で高い比率になっている。

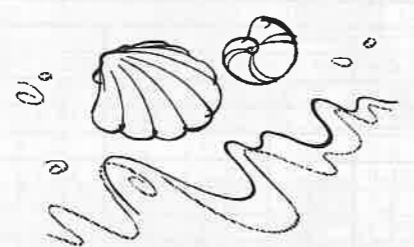


図4-3-6 定住希望理由（属性別）

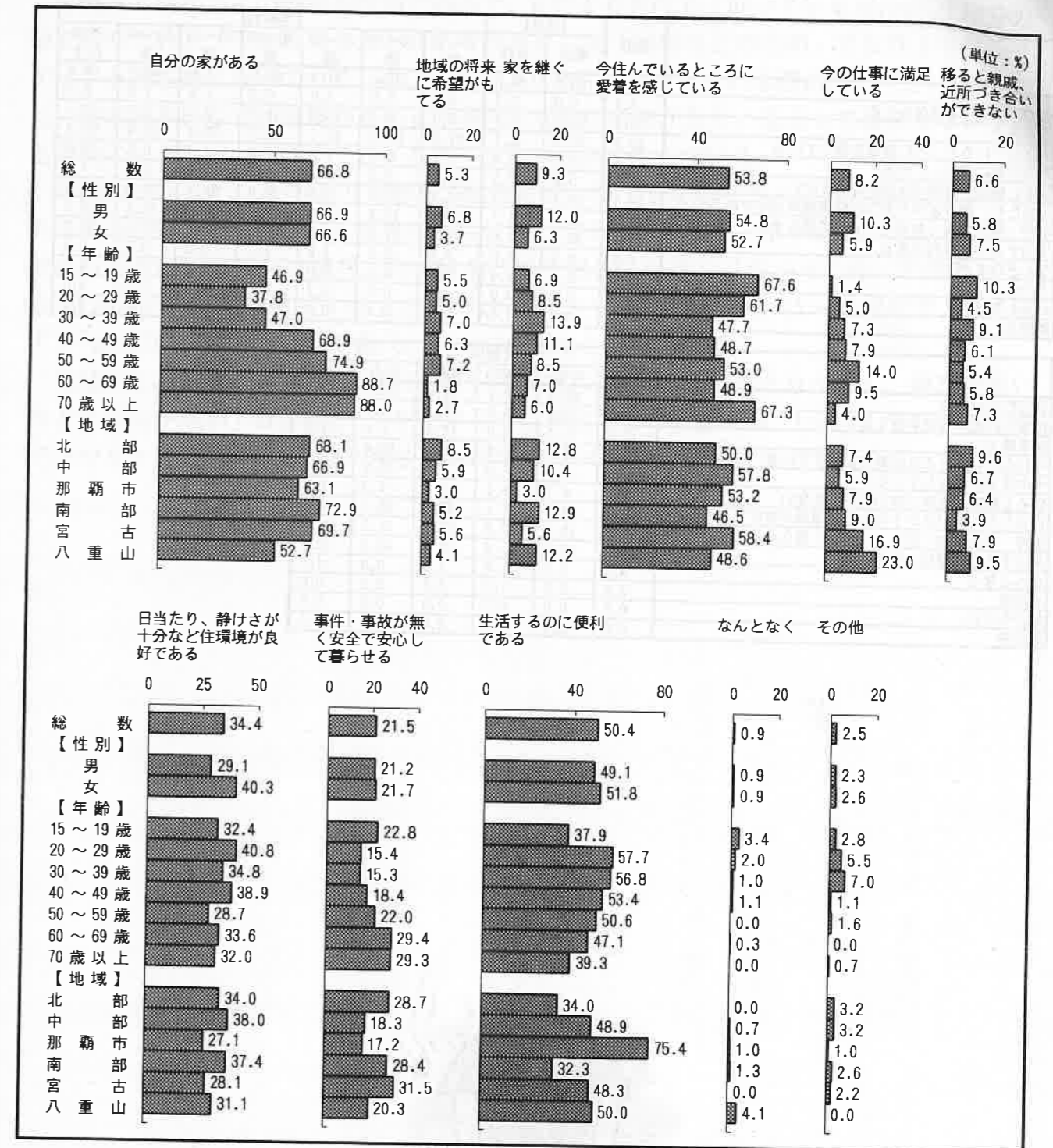


表4-3-2 定住希望理由(県計、属性別)

	県計	【性別】		【年齢別】						
		男性	女性	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上
		歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
自分の家がある	66.8	66.9	66.6	46.9	37.8	47.0	68.9	74.9	88.7	88.0
地域の将来に希望がもてる	5.3	6.8	3.7	5.5	5.0	7.0	6.3	7.2	1.8	2.7
家を継ぐ	9.3	12.0	6.3	6.9	8.5	13.9	11.1	8.5	7.0	6.0
今住んでいるところに愛着を感じている	53.8	54.8	52.7	67.6	61.7	47.7	48.7	53.0	48.9	67.3
今の仕事に満足している	8.2	10.3	5.9	1.4	5.0	7.3	7.9	14.0	9.5	4.0
移ると親戚、近所づき合いができない	6.6	5.8	7.5	10.3	4.5	9.1	6.1	5.4	5.8	7.3
日当たり、静けさが十分など住環境が良好である	34.4	29.1	40.3	32.4	40.8	34.8	38.9	28.7	33.6	32.0
事件・事故が無く安全で安心して暮らせる	21.5	21.2	21.7	22.8	15.4	15.3	18.4	22.0	29.4	29.3
生活するのに便利である	50.4	49.1	51.8	37.9	57.7	56.8	53.4	50.6	47.1	39.3
なんとなく	0.9	0.9	0.9	3.4	2.0	1.0	1.1	0.0	0.3	0.0
その他	2.5	2.3	2.6	2.8	5.5	7.0	1.1	1.6	0.0	0.7
わからない	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	【地域別】					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
自分の家がある	68.1	66.9	63.1	72.9	69.7	52.7
地域の将来に希望がもてる	8.5	5.9	3.0	5.2	5.6	4.1
家を継ぐ	12.8	10.4	3.0	12.9	5.6	12.2
今住んでいるところに愛着を感じている	50.0	57.8	53.2	46.5	58.4	48.6
今の仕事に満足している	7.4	5.9	7.9	9.0	16.9	23.0
移ると親戚、近所づき合いができない	9.6	6.7	6.4	3.9	7.9	9.5
日当たり、静けさが十分など住環境が良好である	34.0	38.0	27.1	37.4	28.1	31.1
事件・事故が無く安全で安心して暮らせる	28.7	18.3	17.2	28.4	31.5	20.3
生活するのに便利である	34.0	48.9	75.4	32.3	48.3	50.0
なんとなく	0.0	0.7	1.0	1.3	0.0	4.1
その他	3.2	3.2	1.0	2.6	2.2	0.0
わからない	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



(4) 属性別にみた移転希望理由

移転を希望する人の理由を性別でみると、女性より男性で上回っている理由は、「自分の家を持ちたい」、「生まれ育ったところで住みたい」、「結婚などのため」で女性より5~6ポイント程度高くなっている。逆に、男性より女性で上回っている理由は、「日当たりが悪く、騒音が多いなど住環境が悪い」、「事件・事故の危険があり、安心して暮らせない」など環境によるものが男性より5~6ポイント程度高くなっている。

年齢別にみると、「日当たりが悪く、騒音が多いなど住環境が悪い」、「生まれ育ったところで住みたい」は年齢が高くなるとともに高くなる傾向にある。県平均で1位の「自分の家を持ちたい」は30~39歳代、40~49歳代で6割と最も高い。「生活するのに不便である」は70歳以上で、「今住んでいるところではやりたい仕事がない」は15~19歳代で、特に高く、「結婚などのため」も20歳代以下で高い理由となっている。

地域別にみると、「自分の家を持ちたい」は宮古で高く、「日当たりが悪く、騒音が多いなど住環境が悪い」是那覇市、「生活するのに不便である」は北部、「今住んでいるところではやりたい仕事がない」は八重山と北部で、それぞれ他の地域に比べて高くなっている。



図4-3-7 移転希望理由（属性別）

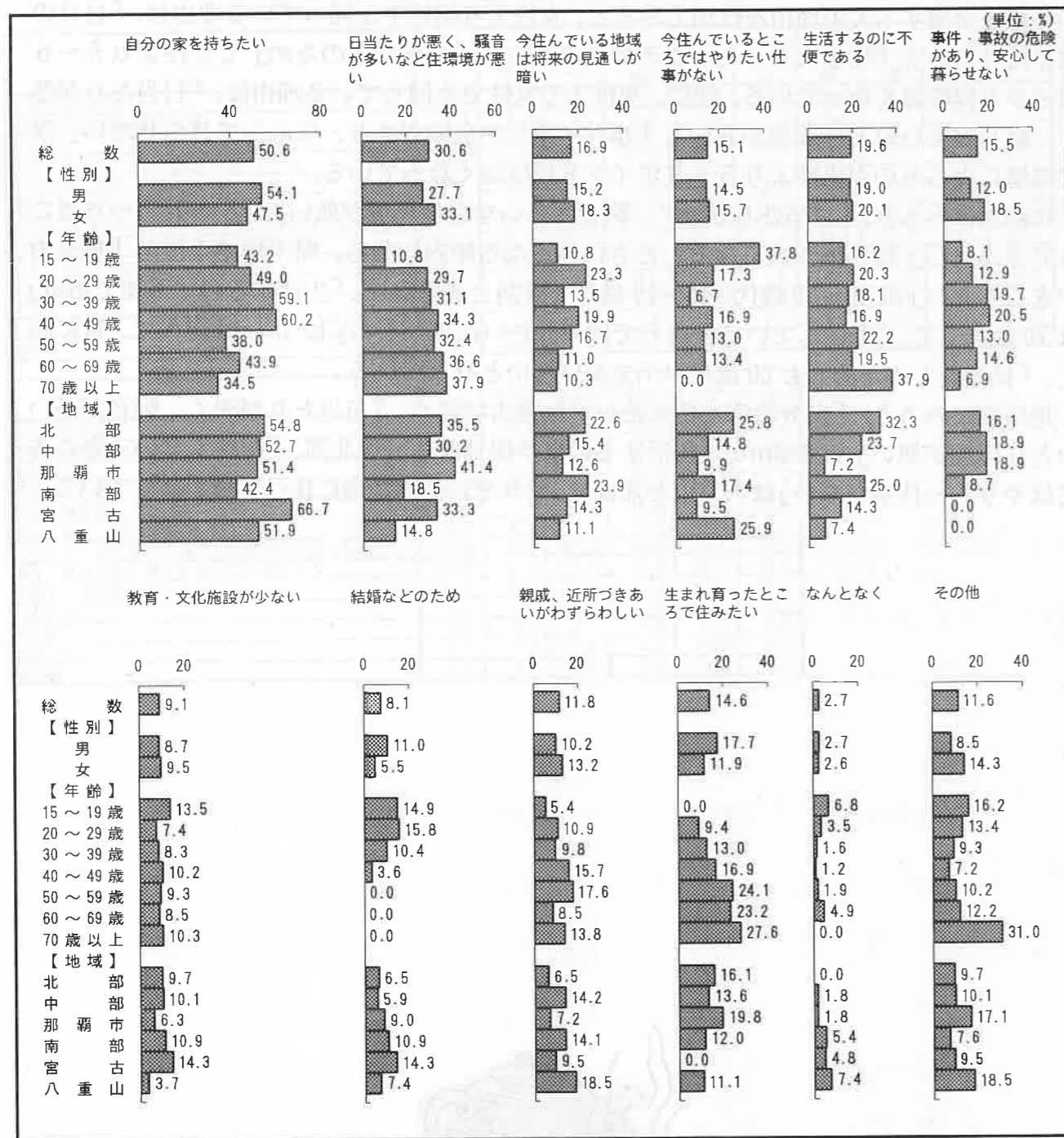


表4-3-3 移転希望理由（県計、属性別）

理由	県計	【性別】		【年齢別】						
		男性	女性	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
		自分の家を持ちたい	50.6	54.1	47.5	43.2	49.0	59.1	60.2	38.0
日当たりが悪く、騒音が多いなど住環境が悪い	30.6	27.7	33.1	10.8	29.7	31.1	34.3	32.4	36.6	37.9
今住んでいる地域は将来の見通しが暗い	16.9	15.2	18.3	10.8	23.3	13.5	19.9	16.7	11.0	10.3
今住んでいるところではやりたい仕事がない	15.1	14.5	15.7	37.8	17.3	16.2	19.7	16.9	13.0	13.4
生活するのに不便である	19.6	19.0	20.1	16.2	20.3	18.1	16.9	22.2	19.5	37.9
事件・事故の危険があり、安心して暮らせない	15.5	12.0	18.5	8.1	12.9	12.9	20.5	13.0	14.6	6.9
教育・文化施設が少ない	9.1	8.7	9.5	13.5	7.4	8.3	10.2	9.3	8.5	10.3
結婚などのため	8.1	11.0	5.5	14.9	15.8	10.4	3.6	0.0	0.0	0.0
親戚、近所づきあいがわずらわしい	11.8	10.2	13.2	5.4	10.9	9.8	15.7	17.6	8.5	13.8
生まれ育ったところで住みたい	14.6	17.7	11.9	0.0	9.4	13.0	16.9	24.1	23.2	27.6
なんとなく	2.7	2.7	2.6	6.8	3.5	1.6	7.2	10.2	12.2	31.0
その他	11.6	8.5	14.3	17.1	7.6	9.5	18.5	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0

理由	【地域別】					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
自分の家を持ちたい	54.8	52.7	51.4	42.4	66.7	51.9
日当たりが悪く、騒音が多いなど住環境が悪い	35.5	30.2	41.4	18.5	33.3	41.4
今住んでいる地域は将来の見通しが暗い	22.6	15.4	12.6	23.9	14.3	11.1
今住んでいるところではやりたい仕事がない	25.8	14.8	9.9	17.4	9.5	25.9
生活するのに不便である	32.3	23.7	7.2	25.0	14.3	7.4
事件・事故の危険があり、安心して暮らせない	16.1	18.9	18.9	8.7	0.0	0.0
教育・文化施設が少ない	9.7	10.1	6.3	10.9	14.3	3.7
結婚などのため	6.5	5.9	9.0	10.9	14.3	7.4
親戚、近所づきあいがわずらわしい	6.5	14.2	7.2	14.1	9.5	18.5
生まれ育ったところで住みたい	16.1	13.6	19.8	12.0	0.0	11.1
なんとなく	0.0	1.8	1.8	5.4	4.8	7.4
その他	9.7	10.1	17.1	7.6	9.5	18.5
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7



(5) 属性別にみた移転希望先

移転を希望する人の移転希望先を性別でみると、「県内のよその市町村」は男性が女性を6.3ポイント上回り、逆に、「今住んでいる市町村内」は女性が男性を5.5ポイント上回っており、差がみられる。

年齢別にみると、「今住んでいる市町村内」は70歳以上が最も高く、60～69歳代でも4割を占め、「県内のよその市町村」を上回っている。「県内のよその市町村」は30～39歳代で47.2%と最も高く、20歳代から50歳代で4割を占め、「今住んでいる市町村内」を上回っている。一方、15～19歳代でも「県内のよその市町村」が33.8%を占めているが、「他の都道府県」も28.4%と他の年齢層から突出している。

地域別にみると、「今住んでいる市町村内」は宮古、那覇市で高く、「県内のよその市町村」は北部、南部で高くなっている。「他の都道府県」は八重山の比率が高くなっている。

図4-3-8 移転希望先(属性別)

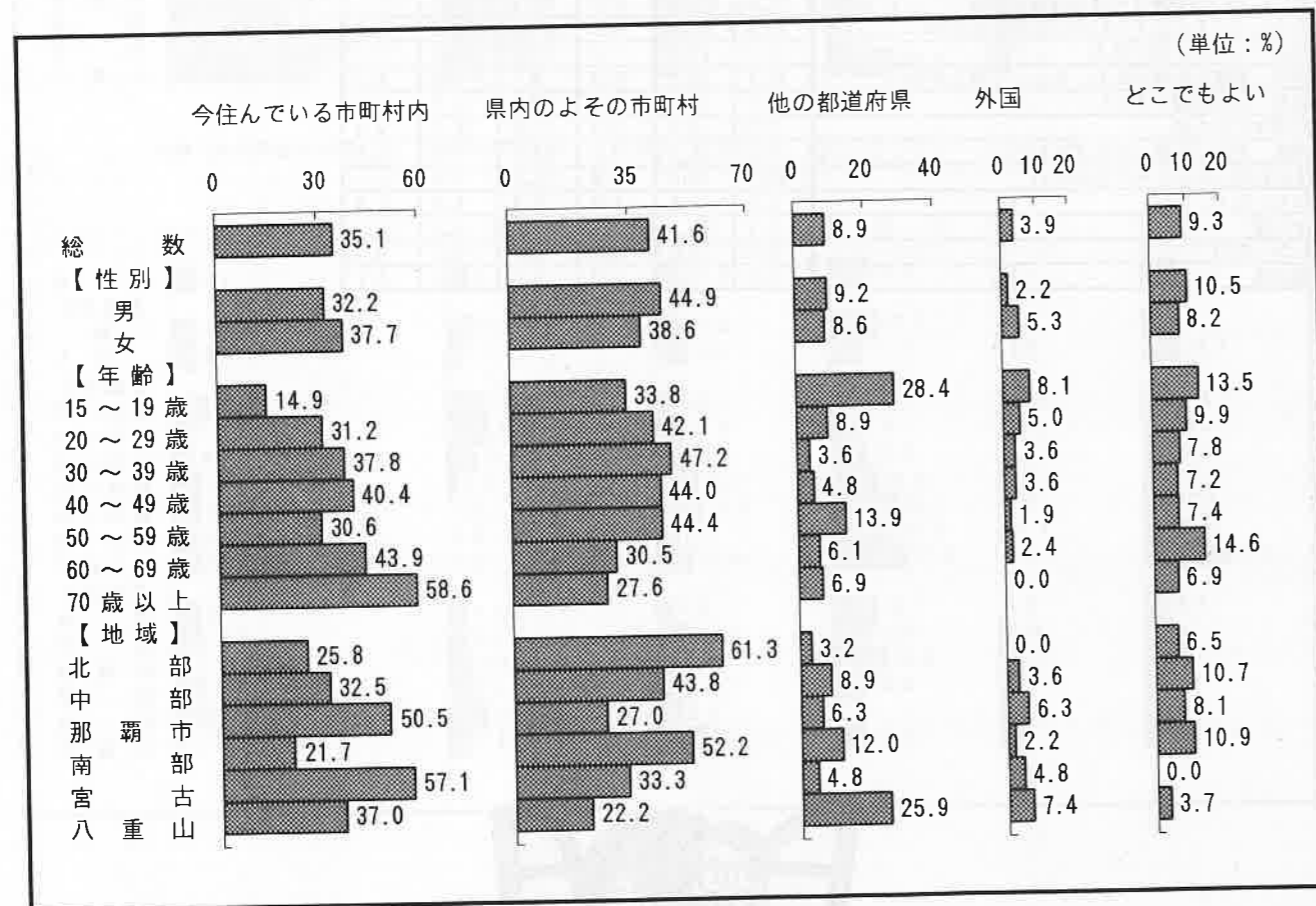


表4-3-4 移転希望先(県計、属性別)

	県計の推移						性別 (%)					
	昭54年	昭59年	平2年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
今住んでいる市町村内	35.2	39.8	41.3	37.2	29.3	35.1	36.0	29.2	32.2	38.7	30.0	37.7
県内のよその市町村	21.9	22.8	20.4	34.5	33.7	41.6	34.5	32.7	44.9	35.0	34.8	38.6
他の都道府県	8.2	9.4	5.7	9.9	10.0	8.9	10.5	11.4	9.2	8.6	9.0	8.6
外国	4.0	2.6	2.9	2.4	4.8	3.9	2.2	5.9	2.2	2.6	4.1	5.3
どこでもよい	13.3	15.0	12.7	8.1	8.4	9.3	8.7	7.4	10.5	7.1	9.0	8.2
無回答	17.4	10.4	17.0	7.9	13.7	1.3	8.0	13.4	1.0	7.9	13.1	1.5

	15～19歳			20～29歳			30～39歳			40～49歳		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
今住んでいる市町村内	21.6	22.0	14.9	34.7	26.7	31.2	35.7	38.6	37.8	38.1	21.9	40.4
県内のよその市町村	27.0	26.8	33.8	35.6	35.8	42.1	36.3	35.0	47.2	37.4	37.5	44.0
他の都道府県	21.6	24.4	28.4	9.9	15.0	8.9	10.7	7.1	3.6	7.9	8.3	4.8
外国	5.4	4.9	8.1	2.0	5.8	5.0	3.0	1.4	3.6	1.4	10.4	3.6
どこでもよい	18.9	4.9	13.5	7.9	10.0	9.9	8.3	8.6	7.8	7.2	8.3	7.2
無回答	5.4	17.1	1.4	9.9	6.7	3.0	6.0	9.3	0.0	7.9	13.5	0.0

	50～59歳			60歳以上		60～69歳	70歳以上
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平16年
今住んでいる市町村内	39.7	32.1	30.6	59.0	27.1	43.9	58.6
県内のよその市町村	29.3	34.0	44.4	28.2	22.9	30.5	27.6
他の都道府県	10.3	5.7	13.9	0.0	2.1	6.1	6.9
外国	3.4	5.7	1.9	0.0	0.0	2.4	0.0
どこでもよい	6.9	5.7	7.4	2.6	10.4	14.6	6.9
無回答	10.0	17.0	1.9	10.3	37.5	2.4	0.0

	北部			中部			那覇市		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
今住んでいる市町村内	47.6	37.8	25.8	30.3	25.8	32.5	51.9	37.6	50.5
県内のよその市町村	21.4	32.4	61.3	41.6	34.1	43.8	24.0	26.5	27.0
他の都道府県	14.3	10.8	3.2	7.4	6.9	8.9	6.5	12.0	6.3
外国	0.0	2.7	0.0	3.0	5.5	3.6	1.3	7.7	6.3
どこでもよい	11.9	5.4	6.5	9.5	10.1	10.7	6.5	10.3	8.1
無回答	4.8	10.8	3.2	4.8	17.5	0.6	4.8	6.0	1.8

	南部			宮古			八重山		
	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年	平7年	平11年	平16年
今住んでいる市町村内	22.9	18.2	21.7	25.0	58.3	57.1	47.8	15.4	37.0
県内のよその市町村	41.0	45.5	52.2	41.7	16.7	33.3	30.4	46.2	22.2
他の都道府県	19.3	14.3	12.0	16.7	8.3	4.8	13.0	15.4	25.9
外国	3.6	1.3	2.2	0.0	0.0	4.8	4.3	3.8	7.4
どこでもよい	7.2	5.2	10.9	0.0	8.3	0.0	4.3	0.0	3.7
無回答	6.0	15.6	1.1	16.6	8.3	0.0	0.2	19.2	3.7